

道路台帳平面図・道路台帳区域線図データ作成マニュアル

及び電子納品の手引き（案）

付属資料

道路台帳平面図・道路台帳区域線図データの作成仕様

平成 29 年 9 月

改訂履歴

年 月	主な改訂内容
平成 28 年 3 月	1.5 版
平成 29 年 7 月	1.6 版 1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ） ・(31)地図記号（点）及び(32)地図記号（点）_下区間のページが途中で切れていたのを修正しました
平成 29 年 9 月	2.1 版 3.道路台帳区域線図データ ・(42)区域線図別図注記、(43)非公開別図注記、(44)区域線図別図範囲、非公開別図範囲を追加しました

目 次

1.	道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）	1
(1)	境界	1
(2)	道路	2
(3)	道路_下区間	3
(4)	道路_上区間	4
(5)	歩道	5
(6)	歩道_下区間	6
(7)	歩道_上区間	7
(8)	普通・堅ろう建物（面）	8
(9)	普通・堅ろう建物（面）_下区間	9
(10)	普通・堅ろう建物（線）	10
(11)	無壁舎（面）	11
(12)	無壁舎（線）	12
(13)	道路施設（面）	13
(14)	道路施設（面）_下区間	15
(15)	道路施設（線）	17
(16)	道路施設（線）_下区間	19
(17)	道路施設（点）	21
(18)	道路施設（点）_下区間	23
(19)	付帯建物（面）	25
(20)	付帯建物（線）	26
(21)	鉄道（面）	27
(22)	鉄道（線）	28
(23)	鉄道（点）	29
(24)	水部（線）	30
(25)	水部（点）	31
(26)	水部（構造物・面）	32
(27)	水部（構造物・線）	33
(28)	水部（構造物・点）	34
(29)	地図記号（面）	35
(30)	地図記号（線）	37
(31)	地図記号（点）	38
(32)	地図記号（点）_下区間	41
(33)	土地利用（構囲等）	44
(34)	土地利用（構囲等）_下区間	46
(35)	土地利用（法面保護）	48
(36)	土地利用（法面保護）_下区間	49

(37)	その他地形（線）	50
(38)	その他地形（点）	51
(39)	標高点.....	52
(40)	地形注記	53
(41)	地形注記_下区間	55
(42)	数値地形モデル（線）	57
(43)	数値地形モデル（点）	58
(44)	その他（面）	59
(45)	その他（面）_下区間	60
(46)	その他（線）	61
(47)	その他（線）_下区間	62
(48)	その他（点）	63
(49)	その他（点）_下区間	64
(50)	その他（注記）	65
(51)	その他（注記）_下区間.....	66
(52)	台帳路線名称.....	67
(53)	台帳幅員寸法.....	68
(54)	台帳幅員寸法_下区間	69
(55)	台帳幅員寸法線（幅員）	70
(56)	台帳幅員寸法線（幅員）_下区間	71
(57)	台帳幅員寸法線（矢印）	72
(58)	台帳幅員寸法線（矢印）_下区間	73
(59)	台帳幅員寸法引出線	74
(60)	側溝種類・幅.....	75
(61)	側溝種類・幅_下区間	76
(62)	側溝種類・幅引出線	77
(63)	側溝種類・幅引出線_下区間.....	78
(64)	舗装界.....	79
(65)	舗装界_下区間.....	80
(66)	路面種別	81
(67)	路面種別_下区間	82
(68)	勾配寸法線.....	83
(69)	勾配寸法	84
(70)	橋梁引出線.....	85
(71)	橋梁名称	86
(72)	橋梁種別記号.....	87
(73)	トンネル引出線	88
(74)	トンネル名称.....	89
(75)	トンネル名称_下区間	90

(76)	立体横断施設引出線	91
(77)	立体横断施設名称	92
(78)	曲線半径引出線	93
(79)	曲線半径諸元	94
(80)	道路台帳注記	95
(81)	マスク	96
(82)	大図郭（旧座標）	97
(83)	小図郭（旧座標）	99
(84)	大図郭（新座標）	101
(85)	小図郭（新座標）	103
2.	道路台帳平面図データ（区間パッケージ・調書図面要素パッケージ）	105
(1)	道路部	105
(2)	調書路線名称	106
(3)	起点記号	107
(4)	終点記号	108
(5)	起点記号（図郭接合部）	109
(6)	終点記号（図郭接合部）	110
(7)	区間中心線	111
(8)	調書幅員寸法	112
(9)	調書幅員寸法線（幅員）	113
(10)	調書幅員寸法線（矢印）	114
(11)	調書幅員寸法引出線	115
(12)	区割線（起点）	116
(13)	区割線（終点）	117
(14)	区割線	118
(15)	境界補助線	119
(16)	区間番号	120
(17)	橋梁区域	121
(18)	橋梁注記	122
(19)	橋梁注記表現補助線	123
(20)	踏切区域	124
(21)	踏切注記	125
(22)	踏切注記表現補助線	126
(23)	トンネル区域	127
(24)	トンネル注記	128
(25)	トンネル注記表現補助線	129
(26)	立体横断施設区域	130
(27)	立体横断施設注記	131
(28)	立体横断施設注記表現補助線	132

3.	道路台帳区域線図データ	133
(1)	道路区域線	133
(2)	道路区域線（重複管理）	135
(3)	道路区域線（未確定）	137
(4)	区域線距離	139
(5)	区域線距離（拡大）	141
(6)	区域線距離（重複管理）	143
(7)	道路境界標（公共座標）	145
(8)	道路境界標（任意座標）	150
(9)	図上点（公共座標）	155
(10)	図上点（任意座標）	160
(11)	道路境界標番号	165
(12)	道路境界標番号（拡大）	166
(13)	道路境界標間距離表示線	167
(14)	道路境界標間距離	169
(15)	道路境界標間距離（拡大）	171
(16)	引出線	173
(17)	引出線（拡大）	175
(18)	道路・水路界	177
(19)	道路・青地界	179
(20)	水路・青地界	180
(21)	道路・水道用地界	181
(22)	道路内民地界	182
(23)	重複管理区域界	183
(24)	その他境界	184
(25)	都府県名	185
(26)	市名	186
(27)	区名	187
(28)	町丁目名	188
(29)	地番	189
(30)	道路表記	190
(31)	水路表記	191
(32)	青地表記	192
(33)	施設表記	193
(34)	道路の路線名	194
(35)	鉄道の路線名	195
(36)	河川表記	196
(37)	橋梁表記	197
(38)	重複管理区域	198

(39)	水道用地表記.....	199
(40)	上空占有区域.....	200
(41)	その他表記.....	201
(42)	区域線図別図注記.....	202
(43)	非公開別図注記.....	203
(44)	区域線図別図範囲.....	204
(45)	非公開別図範囲.....	206
(46)	旧図郭（大図郭）.....	208
(47)	旧図郭（小図郭）.....	209
(48)	新図郭（大図郭）.....	210
(49)	新図郭（小図郭）.....	211
(50)	滅失道路区域線.....	212
(51)	滅失道路境界標（公共座標）.....	214
(52)	滅失道路境界標（任意座標）.....	219
(53)	滅失図上点（公共座標）.....	224
(54)	滅失図上点（任意座標）.....	229
(55)	滅失道路境界標間距離表示線.....	234

1. 道路台帳平面図データ （地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

（1）境界

1. 地物定義 行政区域を表す領域
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW-KYOUKAI
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW-KYOUKAI001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
横浜市都市計画基本図データから取得する。
6. 図形名称 境界 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 都府県界 = 1101 郡市界 = 1103 町村・指定都市の区界 = 1104 町・丁目界 = 1106 所属界 = 1110	INN		1101
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(2) 道路

1. 地物定義 一般交通の用に供する道路及び私有道路の境界
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-DOURO
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-DOURO001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 道路001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 道路縁（街区線）： = 2101	INN		2101
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(3) 道路_下区間

1. 地物定義 一般交通の用に供する道路及び私有道路の境界（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-DOURO_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-DOURO_shita001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 道路_下区間001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 道路縁（街区線）： = 2101	INN		2101
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(4) 道路_上区間

1. 地物定義 一般交通の用に供する道路及び私有道路の境界（立体交差部の上区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-DOURO_ue
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-DOURO_ue001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 道路_上区間 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 道路縁（街区線）： = 2101	INN		2101
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(5) 歩道

1. 地物定義 歩行者や自転車の通行の用に供するために工作物などにより区画して設けられる道路の部分
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-HODOU
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-HODOU001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 歩道 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 歩道 = 2213	INN		2213
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(6) 歩道_下区間

1. 地物定義 歩行者や自転車の通行の用に供するために工作物などにより区画して設けられる道路の部分（立体交差点の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-HODOU_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-HODOU_shita001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 歩道_下区間 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 歩道 = 2213	INN		2213
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(7) 歩道_上区間

1. 地物定義 歩行者や自転車の通行の用に供するために工作物などにより区画して設けられる道路の部分（立体交差点の上区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-HODOU_ue
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-HODOU_ue001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 歩道_上区間 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 歩道 = 2213	INN		2213
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(8) 普通・堅ろう建物(面)

普通建物：3階未満の建築物及び3階以上の木造等で建築された建物

1. 地物定義 堅ろう建物：鉄筋コンクリート等で建築された地上3階以上、又は3階相当以上の高さの建物
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-FUTSUUKENROUTATEMONOMEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-FUTSUUKENROUTATEMONOMEN001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 普通・堅ろう建物（面）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 普通建物 = 3001 堅ろう建物 = 3002	INN		3001
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0 中庭線 = 31 外付階段（縁部）=34 ポーチ・ひさし= 35	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(9) 普通・堅ろう建物(面)_下区間

- 普通建物：3階未満の建築物及び3階以上の木造等で建築された建物（立体交差部の下区間）。
- 堅ろう建物：鉄筋コンクリート等で建築された地上3階以上、又は3階相当以上の高さの建物（立体交差部の下区間）。
1. 地物定義
 2. レイヤ名

	道路調査課が提供するデータ	S-STR-STRL-FUTSUUKENROUTATEMONOMEN_shita
	作業機関が作成するデータ	S-STR-STRL-FUTSUUKENROUTATEMONOMEN_shita001
 3. 図形種類 面データ（ハッチング）
 4. 色 任意
 5. 作図方法

取得基準：

取得基準表に従い取得する。
 6. 図形名称 普通・堅ろう建物（面）_下区間001
 7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 普通建物 = 3001 堅ろう建物 = 3002	INN		3001
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0 中庭線 = 31 外付階段（縁部）=34 ポーチ・ひさし= 35	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(10) 普通・堅ろう建物(線)

- 普通建物：3階未満の建築物及び3階以上の木造等で建築された建物の棟割線、階層線、外付階段（階段線）
- 堅ろう建物：鉄筋コンクリート等で建築された地上3階以上、又は3階相当以上の高さの建物の棟割線、階層線、外付階段（階段線）
1. 地物定義
 2. レイヤ名

道路調査課が提供するデータ	S-STR-STRL-FUTSUUKENROUTATEMONOSEN
作業機関が作成するデータ	S-STR-STRL-FUTSUUKENROUTATEMONOSEN001
 3. 図形種類 線データ（線分、折線）
 4. 色 任意
 5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
 6. 図形名称 普通・堅ろう建物（線）001
 7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 普通建物 = 3001 堅ろう建物 = 3002	INN		3001
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 棟割線 = 32 階層線 = 33 外付階段（階段線） = 99	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(11) 無壁舎(面)

1. 地物定義 側壁のない建物。温室及び工場内等の建物類似の建築物等も含む。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-MUHEKISHAMEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-MUHEKISHAMEN001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 無壁舎（面）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 普通無壁舎 = 3003 堅ろう無壁舎=3004	INN		3003
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0 中庭線 = 31 外付階段（縁部）=34 ポーチ・ひさし= 35	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(12) 無壁舎(線)

1. 地物定義 側壁のない建物（温室及び工場内等の建物類似の建築物等も含む）の棟割線、階層線、外付階段（階段線）
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-MUHEKISHASEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-MUHEKISHASEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 無壁舎（線）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 普通無壁舎 = 3003 堅ろう無壁舎=3004	INN		3003
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 棟割線 = 32 階層線 = 33 外付階段（階段線） = 99	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(13) 道路施設(面)

1. 地物定義 道路と一体となってその効用を全うする施設。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-DOUROSHISETSUMEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-DOUROSHISETSUMEN001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 道路施設（面）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 道路橋（高架部） = 2203 横断歩道橋 = 2211 地下横断歩道 = 2212 地下街・地下鉄等出入口 = 2215 道路のトンネル = 2219 安全地帯 = 2222 バス停上屋 = 2223 分離帯 = 2226 道路の落石防止覆い等 = 2228 雨水柵 = 2235 並木柵 = 2236 その他柵 = 2237 電話ボックス = 2261 マンホール（未分類） = 4101 マンホール（共同溝） = 4111 マンホール（ガス） = 4121 マンホール（電話） = 4131 マンホール（電気） = 4141 ZH（雑線類共同収容溝） = 4143 マンホール（下水） = 4151 マンホール（水道） = 4161 変圧器 = 4171 ハンドホール = 4172 警察の地上機器 = 4173 街路灯の制御盤 = 4174 地下換気孔 = 4217	INN		2103

1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0 高欄 = 21 親柱 = 23	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(14) 道路施設(面)_下区間

1. 地物定義 道路と一体となってその効用を全うする施設（立体交差点の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-DOUROSHISETSUMEN_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-DOUROSHISETSUMEN_shita001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 道路施設（面）_下区間001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 道路橋（高架部） = 2203 横断歩道橋 = 2211 地下横断歩道 = 2212 地下街・地下鉄等出入口 = 2215 道路のトンネル = 2219 安全地帯 = 2222 バス停上屋 = 2223 分離帯 = 2226 道路の落石防止覆い等 = 2228 雨水柵 = 2235 並木柵 = 2236 その他柵 = 2237 電話ボックス = 2261 マンホール（未分類） = 4101 マンホール（共同溝） = 4111 マンホール（ガス） = 4121 マンホール（電話） = 4131 マンホール（電気） = 4141 ZH（雑線類共同収容溝） = 4143 マンホール（下水） = 4151 マンホール（水道） = 4161 変圧器 = 4171 ハンドホール = 4172 警察の地上機器 = 4173 街路灯の制御盤 = 4174 地下換気孔 = 4217	INN		2103

1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0 高欄 = 21 親柱 = 23	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(15) 道路施設(線)

1. 地物定義 道路と一体となってその効用を全うする施設。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-DOUROSHISETSUSEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-DOUROSHISETSUSEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 道路施設（線）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 徒歩道 = 2103 庭園路等 = 2106 トンネル内の道路 = 2107 建設中の道路 = 2109 道路橋（高架部） = 2203 木橋 = 2204 徒橋 = 2205 栈道橋 = 2206 石段 = 2214 地下街・地下鉄等出入口 = 2215 手摺り = 2216 道路のトンネル = 2219 駒止 = 2227 側溝 U字溝無蓋 = 2231 側溝 U字溝有蓋 = 2232 側溝 L字溝 = 2233 側溝地下部 = 2234 車止め： = 2240 防護さく = 6132 乱横断防止さく = 6135	INN		2103
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0 上端部 = 11 下端部 = 12 橋脚 = 22 階段線 = 99	INN		0

1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0
---------	---	-----	--	---

(16) 道路施設(線)_下区間

1. 地物定義 道路と一体となってその効用を全うする施設（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-DOUROSHISETSUSEN_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-DOUROSHISETSUSEN_shita001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 道路施設（線）_下区間 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 徒歩道 = 2103 庭園路等 = 2106 トンネル内の道路 = 2107 建設中の道路 = 2109 道路橋（高架部） = 2203 木橋 = 2204 徒橋 = 2205 栈道橋 = 2206 石段 = 2214 地下街・地下鉄等出入口 = 2215 手摺り = 2216 道路のトンネル = 2219 駒止 = 2227 側溝 U字溝無蓋 = 2231 側溝 U字溝有蓋 = 2232 側溝 L字溝 = 2233 側溝地下部 = 2234 車止め： = 2240 防護さく = 6132 乱横断防止さく = 6135	INN		2103
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0 上端部 = 11 下端部 = 12 橋脚 = 22 ガードレール = 26 ガードパイプ = 27 階段線 = 99	INN		0

1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0
---------	---	-----	--	---

(17) 道路施設(点)

1. 地物定義 道路と一体となってその効用を全うする施設。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-DOUROSHISETSUTEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-DOUROSHISETSUTEN001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 道路施設（点）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 道路のトンネル = 2219 バス停 = 2221 並木 = 2238 植樹 = 2239 車止め = 2240 道路情報板 = 2241 道路標識 案内 = 2242 道路標識 警戒 = 2243 道路標識 規制 = 2244 信号灯 = 2246 信号灯専用ポールのないもの = 2247 歩行者用信号 = 2248 交通量観測所 = 2251 カーブミラー = 2253 反射板 = 2254 距離標 (Km) = 2255 距離標 (m) = 2256 道路境界標 = 2257 電話ボックス = 2261 郵便ポスト = 2262 火災報知機 = 2263 マンホール (未分類) = 4101 マンホール (共同溝) = 4111 有線柱 = 4119 マンホール (ガス) = 4121 マンホール (電話) = 4131 電話柱 = 4132 マンホール (電気) = 4141 電力柱 = 4142	INN		2219

1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

	マンホール（下水） = 4151 マンホール（水道） = 4161 官民境界杭 = 4211 消火栓 = 4215 消火栓 立型 = 4216 地下換気孔 = 4217			
シンボル角度	シンボルデータの角度。	ANG	Deg	0

(18) 道路施設(点)_下区間

1. 地物定義 道路と一体となってその効用を全うする施設（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-DOUROSHISETSUTEN_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-DOUROSHISETSUTEN_shita001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2：circle とする。
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 道路施設（点）_下区間
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 道路のトンネル = 2219 バス停 = 2221 並木 = 2238 植樹 = 2239 車止め = 2240 道路情報板 = 2241 道路標識 案内 = 2242 道路標識 警戒 = 2243 道路標識 規制 = 2244 信号灯 = 2246 信号灯専用ポールのないもの = 2247 歩行者用信号 = 2248 交通量観測所 = 2251 カーブミラー = 2253 反射板 = 2254 距離標 (Km) = 2255 距離標 (m) = 2256 道路境界標 = 2257 電話ボックス = 2261 郵便ポスト = 2262 火災報知機 = 2263 マンホール (未分類) = 4101 マンホール (共同溝) = 4111 有線柱 = 4119 マンホール (ガス) = 4121 マンホール (電話) = 4131 電話柱 = 4132 マンホール (電気) = 4141 電力柱 = 4142 マンホール (下水) = 4151 マンホール (水道) = 4161	INN		2219

1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

	官民境界杭 = 4211 消火栓 = 4215 消火栓 立型 = 4216 地下換気孔 = 4217			
シンボル角度	シンボルデータの角度。	ANG	Deg	0

(19) 付帯建物(面)

1. 地物定義 石、コンクリート、レンガ等でできた堅ろうな門柱を有する施設を「門」とする。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-FUTAITATEMONOMEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-FUTAITATEMONOMEN001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 付帯建物（面）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 門 = 3401 たたき = 3403 プール = 3404	INN		3401
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	ANG		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(20) 付帯建物(線)

1. 地物定義 石、コンクリート、レンガ等でできた堅ろうな門柱を有する施設で、特に神社、仏閣等、構造の大きな施設で建物の一部が道路に供されているものを「屋門」とする。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-FUTAITATEMONOSEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-FUTAITATEMONOSEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 付帯建物（線）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 屋門 = 3402	INN		3401
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	ANG		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(21) 鉄道(面)

1. 地物定義 鉄道と一体となってその効用を全うする施設
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-TETSUDOUMEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-TETSUDOUMEN001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 鉄道（面）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 跨線橋 = 2411 地下通路 = 2412 鉄道のトンネル = 2419 停留所 = 2421 プラットホーム = 2424 プラットホーム上屋 = 2425 モノレール橋脚 = 2426 鉄道の落石防止覆い等 = 2428	INN		3401
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	ANG		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(22) 鉄道(線)

1. 地物定義 鉄道と一体となってその効用を全うする施設
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-TETSUDOUSEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-TETSUDOUSEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 鉄道（線）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 普通鉄道 = 2301 地下鉄地上部 = 2302 路面鉄道 = 2303 モノレール = 2304 特殊軌道 = 2305 建設中の鉄道 = 2309 トンネル内の鉄道 普通鉄道 = 2311 地下鉄地下部 = 2312 トンネル内の鉄道 路面鉄道 = 2313 トンネル内の鉄道 モノレール = 2314 トンネル内の鉄道 特殊鉄道 = 2315 鉄道橋（高架部） = 2401 鉄道のトンネル = 2419	INN		3401
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0 橋脚 = 22	ANG		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(23) 鉄道(点)

1. 地物定義 鉄道と一体となってその効用を全うする施設
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-TETSUDOUTEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-TETSUDOUTEN001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 鉄道（点）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 鉄道のトンネル = 2419 停留所 = 2421	INN		2419
シンボル角度	シンボルデータの角度。	ANG	deg	0

(24) 水部(線)

1. 地物定義 河川、細流、岸線、池沼などの水部
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-SUIBUSEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-SUIBUSEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 水部（線）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 水涯線（河川、湖池等、海岸線） = 5101 細流・一条河川 = 5102 かれ川 = 5103 用水路 = 5104 湖池 = 5105 海岸線 = 5106 水路 地下部 = 5107 柵渠 = 5108 素掘 = 5109 低位水崖線（干潟線）： = 5111	INN		2419
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(25) 水部(点)

1. 地物定義 湖池、海岸線などの水部
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-SUIBUTEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-SUIBUTEN001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 水部（点）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 湖池 = 5105 海岸線 = 5106	INN		5105
シンボル角度	シンボルデータの角度。	ANG	deg	0

(26) 水部(構造物・面)

1. 地物定義 ダム、堰、水門などの水部に関する構造物
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-SUIBUKOUZOUBUTSUMEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-SUIBUKOUZOUBUTSUMEN001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 水部（構造物・面）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 坑口トンネル = 5219 透過水制 = 5232 水制水面下 = 5233 根固 = 5235 床固 陸部 = 5236 床固 水面下 = 5237 蛇籠 = 5238 敷石斜坂 = 5239	INN		5202
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(27) 水部(構造物・線)

1. 地物定義 ダム、堰、水門などの水部に関する構造物
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-SUIBUKOUZOUBUTSUSEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-SUIBUKOUZOUBUTSUSEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 水部（構造物・線）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 栈橋（鉄・コンクリート） = 5202 栈橋（木製・浮栈橋） = 5203 栈橋（浮き） = 5204 防波堤 = 5211 護岸被覆 = 5212 護岸杭（消波ブロック） = 5213 護岸捨石 = 5214 坑口トンネル = 5219 船揚場 = 5222 滝 = 5226 せき = 5227 水門 = 5228 不透過水制 = 5231	INN		5202
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0 上端線 = 11 下端線 = 12 非越流部 = 99	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(28) 水部(構造物・点)

1. 地物定義 ダム、堰、水門などの水部に関する構造物
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-SUIBUKOUZOUBUTSUTEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-SUIBUKOUZOUBUTSUTEN001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 水部（構造物・点）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 栈橋（浮き） = 5204 坑口トンネル = 5219 渡船発着所 = 5221 滝 = 5226 せき = 5227 水門 = 5228 流水方向 = 5241 距離標 = 5255 量水標 = 5256	INN		4201
シンボル角度	シンボルデータの角度。	ANG		0

(29) 地図記号(面)

1. 地物定義 対象地物を国土基本図上に表現するために規定した記号
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-CHIZUKIGOUMEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-CHIZUKIGOUMEN001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 地図記号（面）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 墓碑 = 4201 記念碑 = 4202 立像 = 4203 路傍祠 = 4204 灯ろう = 4205 狛犬 = 4206 彫刻類 = 4208 ベンチ = 4209 地下換気孔 = 4217 噴水 = 4223 井戸 = 4224 油井・ガス井 = 4225 貯水槽 = 4226 肥料槽 = 4227 起重機 = 4228 タンク = 4231 給水塔 = 4232 火の見 = 4233 煙突 = 4234 高塔 = 4235 電波塔 = 4236 灯台 = 4241 航空灯台 = 4242 灯標 = 4243 ヘリポート = 4245 水位観測所 = 4251 流量観測所 = 4252 雨量観測所 = 4253 水質観測所 = 4254 波浪観測所 = 4255 風向・風速観測所 = 4256	INN		4201

1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

	輸送管（地上） = 4261 輸送管（空間） = 4262			
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(30) 地図記号(線)

1. 地物定義 対象地物を国土基本図上に表現するために規定した記号
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-CHIZUKIGOUSEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-CHIZUKIGOUSEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 地図記号（線）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 鳥居 = 4207 輸送管（空間） = 4262 送電線 = 4265	INN		4201
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0 中心線 = 47	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(31) 地図記号(点)

1. 地物定義 対象地物を国土基本図上に表現するために規定した記号。境界等、交通施設、建物等、小物体、水部等、構囲等、場地、植生、地形及び基準点に区分する。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-CHIZUKIGOUTEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-CHIZUKIGOUTEN001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 地図記号（点）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 官公署 = 3503 裁判所 = 3504 検察庁 = 3505 税務署 = 3507 税関 = 3508 郵便局 = 3509 森林管理署 = 3510 測候所 = 3511 地方整備局事務所 = 3512 出張所 = 3513 警察署 = 3514 交番 = 3515 消防署 = 3516 職業安定所（ハローワーク） = 3517 土木事務所 = 3518 役場支所及び出張所 = 3519 神社 = 3521 寺院 = 3522 キリスト教会 = 3523 学校 = 3524 幼稚園・保育園 = 3525 公会堂・公民館 = 3526 博物館 = 3527 図書館 = 3528 美術館 = 3529 保健所 = 3531 病院 = 3532 銀行 = 3534 協同組合 = 3536 デパート = 3539	INN		4201

倉庫 = 3545			
火薬庫 = 3546			
工場 = 3548			
発電所 = 3549			
変電所 = 3550			
浄水場 = 3552			
揚水機場 = 3553			
揚排水機場 = 3556			
排水機場 = 3557			
公衆便所 = 3559			
ガソリンスタンド = 3560			
墓碑 = 4201			
記念碑 = 4202			
立像 = 4203			
路傍祠 = 4204			
灯ろう = 4205			
狛犬 = 4206			
鳥居 = 4207			
地下換気孔 = 4217			
独立樹 (広葉樹) = 4221			
独立樹 (針葉樹) = 4222			
噴水 = 4223			
井戸 = 4224			
油井・ガス井 = 4225			
貯水槽 = 4226			
肥料槽 = 4227			
起重機 = 4228			
タンク = 4231			
給水塔 = 4232			
火の見 = 4233			
煙突 = 4234			
高塔 = 4235			
電波塔 = 4236			
照明灯 = 4237			
防犯灯 = 4238			
商店街灯 = 4240			
灯台 = 4241			
航空灯台 = 4242			
灯標 = 4243			
ヘリポート = 4245			
水位観測所 = 4251			
流量観測所 = 4252			
雨量観測所 = 4253			
水質観測所 = 4254			
波浪観測所 = 4255			
風向・風速観測所 = 4256			
空地 = 6211			
駐車場 = 6212			
花壇 = 6213			
園庭 = 6214			
墓地 = 6215			
材料置場 = 6216			
温泉・鉱泉 = 6222			
陵墓 = 6223			

1.道路台帳平面図データ (地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ)

	古墳 = 6224 城・城跡 = 6225 史跡・名勝・天然記念物 = 6226 採石場 = 6231 土取場 = 6232 採鉱地 = 6233 田 = 6311 はす田 = 6312 畑 = 6313 果樹園 = 6319 その他の樹木畑 = 6321 牧草地 = 6322 芝地 = 6323 広葉樹林 = 6331 針葉樹林 = 6332 竹林 = 6333 荒地 = 6334 しの地 = 6336 湿地 = 6338 砂れき地 (未分類) = 6340 砂地 = 6341 れき地 = 6342 干潟 = 6345 指示点 = 8199			
シンボル角度	シンボルデータの角度	ANG	deg	0

(32) 地図記号(点)_下区間

- 対象地物を国土基本図上に表現するために規定した記号。境界等、交通施設、建物等、小物体、水部等、構囲等、場地、植生、地形及び基準点に区分する（立体交差部の下区間）。
1. 地物定義
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-CHIZUKIGOUTEN_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-CHIZUKIGOUTEN_shita 001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2：circle とする。
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 地図記号（点）_下区間 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 官公署 = 3503 裁判所 = 3504 検察庁 = 3505 税務署 = 3507 税関 = 3508 郵便局 = 3509 森林管理署 = 3510 測候所 = 3511 地方整備局事務所 = 3512 出張所 = 3513 警察署 = 3514 交番 = 3515 消防署 = 3516 職業安定所（ハローワーク） = 3517 土木事務所 = 3518 役場支所及び出張所 = 3519 神社 = 3521 寺院 = 3522 キリスト教会 = 3523 学校 = 3524 幼稚園・保育園 = 3525 公会堂・公民館 = 3526 博物館 = 3527 図書館 = 3528 美術館 = 3529 保健所 = 3531 病院 = 3532 銀行 = 3534 協同組合 = 3536	INN		3503

デパート = 3539 倉庫 = 3545 火薬庫 = 3546 工場 = 3548 発電所 = 3549 変電所 = 3550 浄水場 = 3552 揚水機場 = 3553 揚排水機場 = 3556 排水機場 = 3557 公衆便所 = 3559 ガソリンスタンド = 3560 墓碑 = 4201 記念碑 = 4202 立像 = 4203 路傍祠 = 4204 灯ろう = 4205 狛犬 = 4206 鳥居 = 4207 地下換気孔 = 4217 独立樹 (広葉樹) = 4221 独立樹 (針葉樹) = 4222 噴水 = 4223 井戸 = 4224 油井・ガス井 = 4225 貯水槽 = 4226 肥料槽 = 4227 起重機 = 4228 タンク = 4231 給水塔 = 4232 火の見 = 4233 煙突 = 4234 高塔 = 4235 電波塔 = 4236 照明灯 = 4237 防犯灯 = 4238 商店街灯 = 4240 灯台 = 4241 航空灯台 = 4242 灯標 = 4243 ヘリポート = 4245 水位観測所 = 4251 流量観測所 = 4252 雨量観測所 = 4253 水質観測所 = 4254 波浪観測所 = 4255 風向・風速観測所 = 4256 空地 = 6211 駐車場 = 6212 花壇 = 6213 園庭 = 6214 墓地 = 6215 材料置場 = 6216 温泉・鉱泉 = 6222			
--	--	--	--

1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

	陵墓 = 6223 古墳 = 6224 城・城跡 = 6225 史跡・名勝・天然記念物 = 6226 採石場 = 6231 土取場 = 6232 採鉱地 = 6233 田 = 6311 はす田 = 6312 畑 = 6313 果樹園 = 6319 その他の樹木畑 = 6321 牧草地 = 6322 芝地 = 6323 広葉樹林 = 6331 針葉樹林 = 6332 竹林 = 6333 荒地 = 6334 しの地 = 6336 湿地 = 6338 砂れき地（未分類） = 6340 砂地 = 6341 れき地 = 6342 干潟 = 6345 指示点 = 8199			
シンボル角度	シンボルデータの角度。	ANG	deg	0

(33) 土地利用(構囲等)

- 構囲：人工斜面、土堤、被覆や建物、敷地周辺を区画するためのかき及びへい等の構造物。
1. 地物定義 場地・植生：場地の区域線及び地表面の植物の状態を区分する植生界、耕地界。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-TOCHIRIYOUKOUITOU
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-TOCHIRIYOUKOUITOU001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 土地利用（構囲等）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 護岸被覆 = 5212 人工斜面 = 6101 土堤 = 6102 表法肩の法線 = 6103 コンクリート被覆 = 6111 ブロック被覆 = 6112 石積被覆 = 6113 かき = 6130 落下防止さく = 6131 防護さく = 6132 遮光さく = 6133 鉄さく = 6134 生垣 = 6136 土囲 = 6137 堅ろうへい = 6141 簡易へい = 6142 区域界 = 6201 植生界 = 6301 耕地界 = 6302	INN		5212
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0 上端線 = 11 下端線 = 12 ガードレール = 26 ガードパイプ = 27 中心 = 46	INN		0

1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0
---------	---	-----	--	---

(34) 土地利用(構囲等)_下区間

- 構囲：人工斜面、土堤、被覆や建物、敷地周辺を区画するためのかき及びへい等の構造物（立体交差部の下区間）。
1. 地物定義
 場地・植生：場地の区域線及び地表面の植物状態を区分する植生界、耕地界（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名
 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-TOCHIRIYOUKOUITOU_shita
 作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-TOCHIRIYOUKOUITOU_shita001
3. 図形種類
 線データ（線分、折線）
4. 色
 任意
5. 作図方法
 取得基準：
 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称
 土地利用（構囲等）_下区間 001

7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域人工斜面 = 6101 土堤 = 6102 表法肩の法線 = 6103 コンクリート被覆 = 6111 ブロック被覆 = 6112 石積被覆 = 6113 さく（未分類） = 6130 落下防止さく = 6131 防護さく = 6132 遮光さく = 6133 鉄さく = 6134 生垣 = 6136 土囲 = 6137 堅ろうへい = 6141 簡易へい = 6142 区域界 = 6201 植生界 = 6301 耕地界 = 6302	INN		5212
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0 上端線 = 11 下端線 = 12 ガードレール = 26 ガードパイプ = 27 中心 = 46	INN		0

1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0
---------	---	-----	--	---

(35) 土地利用(法面保護)

1. 地物定義 土地利用の内、法面保護を指す。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-TOCHIRIYOUNORIMENHOGO
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-TOCHIRIYOUNORIMENHOGO001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 土地利用（法面保護）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 法面保護（網） = 6121 法面保護（モルタル） = 6122 法面保護（コンクリート柵） = 6123 たたき： = 6217	INN		5212
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(36) 土地利用(法面保護)_下区間

1. 地物定義 土地利用の内、法面保護を指す（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-TOCHIRIYOUNORIMENHOGO_shi
ta
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-TOCHIRIYOUNORIMENHOGO_shi
ta001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 土地利用（法面保護）_下区間 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 法面保護（網） = 6121 法面保護（モルタル） = 6122 法面保護（コンクリート柵） = 6123 たたき： = 6217	INN		5212
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(37) その他地形(線)

1. 地物定義 自然によって作られた地表面の起伏の状態。土がけ、雨裂、急斜面、洞口、岩がけ、露岩、散岩及び珊瑚礁に区分される。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRL-SONOTACHIKEISEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRL-SONOTACHIKEISEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 その他地形（線）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 土がけ（崩土） = 7201 雨裂 = 7202 急斜面 = 7203 岩がけ = 7211 露岩 = 7212 散岩 = 7213	INN		7201
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0 上端線 = 11 下端線 = 12	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(38) その他地形(点)

1. 地物定義 自然によって作られた地表面の起伏の状態。土がけ、雨裂、急斜面、洞口、岩がけ、露岩、散岩及び珊瑚礁に区分される。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-SONOTACHIKEITEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-SONOTACHIKEITEN001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
取得基準:
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 その他地形（点）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 土がけ = 7201 洞口 = 7206 岩がけ = 7211 散岩 = 7213	INN		7201
シンボル角度	シンボルデータの角度。	ANG	deg	0

(39) 標高点

1. 地物定義 地表面の基準面からの高さ
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-HYOUKOUTEN
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-HYOUKOUTEN001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 標高点001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 三角点 = 7301 水準点 = 7302 多角点等 = 7303 公共基準点（三角点） = 7304 公共基準点（水準点） = 7305 公共基準点（多角点等） = 7306 その他の基準点 = 7307 電子基準点 = 7308 公共電子基準点 = 7309 標石を有しない標高点 = 7311 測量機器測定による標高点 = 7312	INN		7301
シンボル角度	シンボルデータの角度。	ANG	deg	0
標高値	測定された標高を m 単位で表した標高	LEN	m	1.25

(40) 地形注記

1. 地物定義 地域、人工物、自然物などの固有の名称、特定の地図記号のないものの名称及び種類、又は状態を示すもの。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-CHIKEICHUUKI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-CHIKEICHUUKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 地形注記001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 距離標 (Km) = 2255 距離標 (m) = 2256 プール = 3404 護岸杭(消波ブロック) = 5213 護岸 捨石 = 5214 船揚場 = 5222 根固 = 5235 床固 陸部 = 5236 床固 水面下 = 5237 シャカゴ = 5238 三角点 = 7301 水準点 = 7302 多角点 = 7303 公共基準点(三角点) = 7304 公共基準点(水準点) = 7305 公共基準点(多角点等) = 7306 その他基準点 = 7307 電子基準点 = 7308 公共電子基準点 = 7309 標石を有しない標高点 = 7311 測量機器測定による標高点 = 7312 市: = 8110 町・村・指定都市の区 = 8111 市町村の飛地 = 8112 大区域 = 8113 町・丁目 = 8114 丁目 = 8115 通り = 8116 その他の地名(大) = 8117	INN		2255

1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

	その他の地名(中) = 8118 その他の地名(小) = 8119 道路の路線名: = 8121 坂・峠・道路施設・インターチェンジ等 = 8122 鉄道の路線名 = 8123 鉄道施設・駅・操車場・信号所: = 8124 橋 = 8125 トンネル = 8126 建物の名称 = 8131 建物の付属物 = 8134 マンホール = 8140 電柱 = 8141 その他の小物体 = 8142 水部 = 8151 水部施設・ダム = 8152 地下水部 = 8153 法面、構囲 = 8161 諸地、場地 = 8162 植生 = 8163 山地 = 8171 説明注記 = 8181			
--	--	--	--	--

(41) 地形注記_下区間

1. 地物定義 地域、人工物、自然物などの固有の名称、特定の地図記号のないものの名称及び種類、又は状態を示すもの（立体交差点の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-CHIKEICHUUKI_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-CHIKEICHUUKI_shita 001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 地形注記_下区間001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 距離標 (Km) = 2255 距離標 (m) = 2256 プール = 3404 護岸杭(消波ブロック) = 5213 護岸 捨石 = 5214 船揚場 = 5222 根固 = 5235 床固 陸部 = 5236 床固 水面下 = 5237 シャカゴ = 5238 三角点 = 7301 水準点 = 7302 多角点 = 7303 公共基準点(三角点) = 7304 公共基準点(水準点) = 7305 公共基準点(多角点等) = 7306 その他基準点 = 7307 電子基準点 = 7308 公共電子基準点 = 7309 標石を有しない標高点 = 7311 測量機器測定による標高点 = 7312 市: = 8110 町・村・指定都市の区 = 8111 市町村の飛地 = 8112 大区域 = 8113 町・丁目 = 8114 丁目 = 8115 通り = 8116			2255

1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

その他の地名(大) = 8117 その他の地名(中) = 8118 その他の地名(小) = 8119 道路の路線名: = 8121 坂・峠・道路施設・インターチェンジ等 = 8122 鉄道の路線名 = 8123 鉄道施設・駅・操車場・信号所: = 8124 橋 = 8125 トンネル = 8126 建物の名称 = 8131 建物の付属物 = 8134 マンホール = 8140 電柱 = 8141 その他の小物体 = 8142 水部 = 8151 水部施設・ダム = 8152 地下水部 = 8153 法面、構囲 = 8161 諸地、場地 = 8162 植生 = 8163 山地 = 8171 説明注記 = 8181			
--	--	--	--

(42) 数値地形モデル(線)

1. 地物定義 数値地形モデル法によるブレイクライン、不整三角網
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-SUV-SUVL-SUUCHICHIKEIMODERUSEN
作業機関が作成するデータ S-SUV-SUVL-SUUCHICHIKEIMODERUSEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 数値地形モデル（線）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域ブレイクライン = 7521 不整三角網 = 7531	INN		7521
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 地表面の三角形 = 0 表層面の三角形 = 51 水表面の三角形 = 52	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0 間断する = 1～9	INN		0

(43) 数値地形モデル(点)

1. 地物定義 数値地形モデル法によるデータグリッドデータ、ランダムポイント
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-SUV-SUVP-SUUCHICHIKEIMODERUTEN
作業機関が作成するデータ S-SUV-SUVP-SUUCHICHIKEIMODERUTEN001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 数値地形モデル（点）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 グリッドデータ = 7501 ランダムポイント = 7511	INN		7501

(44) その他(面)

1. 地物定義 元資料において、その内容が不明であった地形（面）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-Sonota(Men)
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-Sonota(Men) 001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 その他（面）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 その他（面） = 9999	INN		9999
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0	INN		0

(45) その他(面)_下区間

1. 地物定義 元資料において、その内容が不明であった地形（面）（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-Sonota(Men)_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-Sonota(Men)_shita001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 その他（面）_下区間 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 その他（面） = 9999	INN		9999
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0	INN		0

(46) その他(線)

1. 地物定義 元資料において、その内容が不明であった地形（線）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-Sonota(Sen)
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-Sonota(Sen) 001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 その他（線）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 その他（線） = 9999	INN		9999
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0	INN		0

(47) その他(線)_下区間

1. 地物定義 元資料において、その内容が不明であった地形（線）（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-Sonota(Sen)_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-Sonota(Sen)_shita001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 その他（線）_下区間 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 その他（線） = 9999	INN		9999
DM 図形区分	DM 要素レコードの図形区分。 定義域 非区分 = 0	INN		0
DM 間断区分	DM 要素レコードの間断区分。 定義域 間断しない = 0	INN		0

(48) その他(点)

1. 地物定義 元資料において、その内容が不明であった地形（点）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-Sonota(Ten)
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-Sonota(Ten) 001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 その他（点）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 その他（点） = 9999	INN		9999
シンボル角度	シンボルデータの角度	ANG	deg	0

(49) その他(点)_下区間

1. 地物定義 元資料において、その内容が不明であった地形（点）（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-Sonota(Ten)_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-Sonota(Ten)_shita001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 その他（点）_下区間 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 その他（点） = 9999	INN		9999
シンボル角度	シンボルデータの角度	ANG	deg	0

(50) その他(注記)

1. 地物定義 元資料において、その内容が不明であった地形（注記）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-Sonota(Chuuki)
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-Sonota(Chuuki) 001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 その他（注記）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 その他（注記） = 9999	INN		9999

(51) その他(注記)_下区間

1. 地物定義 元資料において、その内容が不明であった地形（注記）（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-Sonota(Chuuki)_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-Sonota(Chuuki)_shita001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 取得基準表に従い取得する。
6. 図形名称 その他（注記）_下区間001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
DM 作成年月	DM データ作成年月。	STR		2011-03
DM 地図情報レベル	DM データの地図情報レベル。	INN		500
DM 図式コード	DM 要素レコードの分類コード。 定義域 その他（注記） = 9999	INN		9999

(52) 台帳路線名称

1. 地物定義 横浜市が管理する公道の名称をいう。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-DAICHOUROSENMEISHOU
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-DAICHOUROSENMEISHOU001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 路線名称の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 台帳路線名称001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
データ有効期間 (開始)	データ有効期間 (開始)	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	データ有効期間 (終了)	STR		2011-03-07

(53) 台帳幅員寸法

1. 地物定義 車道、歩道、分離帯等道路を構成する要素の幅をいう。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-DAICHOUFUKUINSUNPOU
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-DAICHOUFUKUINSUNPOU001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 幅員寸法の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 台帳幅員寸法001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(54) 台帳幅員寸法_下区間

1. 地物定義 車道、歩道、分離帯等道路を構成する要素の幅をいう（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-DAICHOUFUKUINSUNPOU_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-DAICHOUFUKUINSUNPOU_shita001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 幅員寸法の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 台帳幅員寸法_下区間001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(55) 台帳幅員寸法線(幅員)

1. 地物定義 現況道路を構成する要素の内、車道・歩道・中央分離帯等の幅を示す幅員寸法の幅員部。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-DAICHOUFUKUINSUNPOUSENFU
KUIN
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-DAICHOUFUKUINSUNPOUSENFU
KUIN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 幅員寸法線の幅員の位置を取得する。
6. 図形名称 台帳幅員寸法線（幅員）001

7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
基図の幅員	測定基図に記載の幅員	STR		5.00

(56) 台帳幅員寸法線(幅員)_下区間

1. 地物定義 現況道路を構成する要素の内、車道・歩道・中央分離帯等の幅を示す幅員寸法の幅員部（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-DAICHOUFUKUINSUNPOUSENFU
KUIN_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-DAICHOUFUKUINSUNPOUSENFU
KUIN_shita 001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 幅員寸法線の幅員の位置を取得する。
6. 図形名称 台帳幅員寸法線（幅員）_下区間001

7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
基図の幅員	測定基図に記載の幅員	STR		5.00

(57) 台帳幅員寸法線(矢印)

1. 地物定義 現況道路を構成する要素の内、車道・歩道・中央分離帯等の幅を示す幅員寸法線の矢印部。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-DAICHOUFUKUINSUNPOUSENYAJ
IRUSHI
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-DAICHOUFUKUINSUNPOUSENYAJ
IRUSHI001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 幅員寸法線の矢印の位置を取得する。
6. 図形名称 台帳幅員寸法線（矢印）001

7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(58) 台帳幅員寸法線(矢印)_下区間

1. 地物定義 現況道路を構成する要素の内、車道・歩道・中央分離帯等の幅を示す幅員寸法線の矢印部（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-DAICHOUFUKUINSUNPOUSENYAJ
IRUSHI_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-DAICHOUFUKUINSUNPOUSENYAJ
IRUSHI_shita001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 幅員寸法線の矢印の位置を取得する。
6. 図形名称 台帳幅員寸法線（矢印）_下区間001

7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(59) 台帳幅員寸法引出線

1. 地物定義 幅員寸法線が道路の外に記載されている場合に使用する。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-DAICHOUFUKUINSUNPOUHIKIDA
SHISEN
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-DAICHOUFUKUINSUNPOUHIKIDA
SHISEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 幅員寸法引出線の位置を取得する。
6. 図形名称 台帳幅員寸法引出線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(60) 側溝種類・幅

1. 地物定義 側溝の構造種別と寸法（幅）を示す。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-SOKKOUSURUIHABA
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-SOKKOUSURUIHABA001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 側溝種類、幅の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 側溝種類・幅001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(61) 側溝種類・幅_下区間

1. 地物定義 側溝の構造種別と寸法（幅）を示す（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-SOKKOUSHURUIHABA_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-SOKKOUSHURUIHABA_shita 001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 側溝種類、幅の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 側溝種類・幅_下区間001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(62) 側溝種類・幅引出線

1. 地物定義 側溝の構造種別と寸法（幅）の引出線
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-SOKKOUSURUIHABAHIKIDASHI
SEN
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-SOKKOUSURUIHABAHIKIDASHI
SEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
側溝種類・幅引出線の位置を取得する。
6. 図形名称 側溝種類・幅引出線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(63) 側溝種類・幅引出線_下区間

1. 地物定義 側溝の構造種別と寸法（幅）の引出線（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-SOKKOUSURUIHABAHIKIDASHI
SEN_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-SOKKOUSURUIHABAHIKIDASHI
SEN_shita 001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
側溝種類・幅引出線の位置を取得する。
6. 図形名称 側溝種類・幅引出線_下区間001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(64) 舗装界

1. 地物定義 舗装種別の境界を表すライン
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-HOSOUKAI
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-HOSOUKAI001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 舗装界の位置を取得する。
6. 図形名称 舗装界
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(65) 舗装界_下区間

1. 地物定義 舗装種別の境界を表すライン（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-HOSOUKAI_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-HOSOUKAI_shita 001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 舗装界の位置を取得する。
6. 図形名称 舗装界_下区間001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(66) 路面種別

1. 地物定義 道路の舗装種別を示す。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-ROMENSHUBETSU
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-ROMENSHUBETSU001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
路面種別の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 路面種別001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】												
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03												
路面種別	路面舗装の種別。 定義域 下のコード表より値を選択する。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>路面種別</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>コンクリート (Co) , コンクリート平板 (Cp)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>アスファルト (a)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>砂利 (g)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>インターロッキングブ ロック (ILB)</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	路面種別	値	その他	0	コンクリート (Co) , コンクリート平板 (Cp)	1	アスファルト (a)	3	砂利 (g)	4	インターロッキングブ ロック (ILB)	5	INN		0
路面種別	値															
その他	0															
コンクリート (Co) , コンクリート平板 (Cp)	1															
アスファルト (a)	3															
砂利 (g)	4															
インターロッキングブ ロック (ILB)	5															

(67) 路面種別_下区間

1. 地物定義 道路の舗装種別を示す（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-ROMENSHUBETSU_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-ROMENSHUBETSU_shita 001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
路面種別の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 路面種別_下区間001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】												
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03												
路面種別	路面舗装の種別。 定義域 下のコード表より値を選択する。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>路面種別</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>コンクリート (Co) , コンクリート平板 (Cp)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>アスファルト (a)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>砂利 (g)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>インターロッキングブ ック (ILB)</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	路面種別	値	その他	0	コンクリート (Co) , コンクリート平板 (Cp)	1	アスファルト (a)	3	砂利 (g)	4	インターロッキングブ ック (ILB)	5	INN		0
路面種別	値															
その他	0															
コンクリート (Co) , コンクリート平板 (Cp)	1															
アスファルト (a)	3															
砂利 (g)	4															
インターロッキングブ ック (ILB)	5															

(68) 勾配寸法線

1. 地物定義 道路構造令第 20 条に規程される車道の縦断勾配
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-KOUBAISUNPOUSEN
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-KOUBAISUNPOUSEN
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 勾配寸法線の位置を取得する。
6. 図形名称 勾配寸法線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(69) 勾配寸法

1. 地物定義 道路が縦断面に上り下りがある場合に使用する。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-KOUBAISUNPOU
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-KOUBAISUNPOU001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 勾配寸法の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 勾配寸法001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(70) 橋梁引出線

1. 地物定義 橋梁の名称、延長、幅員を表示する場合に使用する。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-HTXT-KYOURYOUHIKIDASHISEN
作業機関が作成するデータ S-STR-HTXT-KYOURYOUHIKIDASHISEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 橋梁引出線の位置を取得する。
6. 図形名称 橋梁引出線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
橋梁番号	橋梁番号	STR		100

(71) 橋梁名称

1. 地物定義 橋梁の名称を入力する場合に使用する。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-KYOURYOUMEISHOU
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-KYOURYOUMEISHOU001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 橋梁名称の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 橋梁名称001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
橋梁番号	橋梁番号	STR		100

(72) 橋梁種別記号

1. 地物定義 橋梁の使用材料を表示する場合に使用する。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-KYOURYOUSHUBETSUKIGOU
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-KYOURYOUSHUBETSUKIGOU001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
橋梁種別記号の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 橋梁種別記号001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】										
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03										
橋種	橋梁使用材料の種別。 定義域 下のコード表より値を選択する。 <table border="1" style="margin: 5px auto;"> <thead> <tr> <th>橋種区分</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木橋 (W)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コンクリート橋 (Cb)</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>鋼橋 (S)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>石橋 (I)</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	橋種区分	値	木橋 (W)	1	コンクリート橋 (Cb)	2	鋼橋 (S)	3	石橋 (I)	4	STR		1
橋種区分	値													
木橋 (W)	1													
コンクリート橋 (Cb)	2													
鋼橋 (S)	3													
石橋 (I)	4													

(73) トンネル引出線

1. 地物定義 トンネルの名称、延長、幅員を表示する場合に使用する。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-HTXT-TONNERUHIKIDASHISEN
作業機関が作成するデータ S-STR-HTXT-TONNERUHIKIDASHISEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 トンネル引出線の位置を取得する。
6. 図形名称 トンネル引出線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
トンネル番号	トンネル番号	STR		100

(74) トンネル名称

1. 地物定義 トンネルの名称を入力する場合に使用する。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-TONNERUMEISHOU
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-TONNERUMEISHOU001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 トンネル名称の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 トンネル名称001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
トンネル番号	トンネル番号	STR		100

(75) トンネル名称_下区間

1. 地物定義 トンネルの名称を入力する場合に使用する（立体交差部の下区間）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-TONNERUMEISHOU_shita
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-TONNERUMEISHOU_shita 001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 トンネル名称の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 トンネル名称_下区間001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
トンネル番号	トンネル番号	STR		100

(76) 立体横断施設引出線

1. 地物定義 立体横断施設の名称、延長、幅員を表示する場合に使用する。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-HTXT-RITTAIOUDANSHISETSUHIKIDASHISEN
作業機関が作成するデータ S-STR-HTXT-RITTAIOUDANSHISETSUHIKIDASHISEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 立体横断施設引出線の位置を取得する。
6. 図形名称 立体横断施設引出線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
立体横断施設番号	立体横断施設番号	STR		100

(77) 立体横断施設名称

1. 地物定義 立体横断施設の名称を入力する場合に使用する。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-RITTAIOUDANSHISETSUMEISHOU
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-RITTAIOUDANSHISETSUMEISHOU
001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 立体横断施設名称の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 立体横断施設名称001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
立体横断施設番号	立体横断施設番号	STR		100

(78) 曲線半径引出線

1. 地物定義 道路の単曲線の半径を表示する場合に使用する。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-HTXT-KYOKUSENHANKEIHIKIDASHIS
EN
作業機関が作成するデータ S-BMK-HTXT-KYOKUSENHANKEIHIKIDASHIS
EN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準:
5. 作図方法 曲率半径引出線の位置を取得する。
6. 図形名称 曲線半径引出線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(79) 曲線半径諸元

1. 地物定義 道路の単曲線の半径数値を表示する場合に使用する。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-TXT-KYOKUSENHANKEISHOGEN
作業機関が作成するデータ S-BMK-TXT-KYOKUSENHANKEISHOGEN001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 曲率半径緒元の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 曲線半径諸元001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(80) 道路台帳注記

1. 地物定義 その他注記を表示する場合に利用する。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-TXT-DOURODAITYOUCHUUKI
 作業機関が作成するデータ S-BMK-TXT-DOURODAITYOUCHUUKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
 取得基準：
5. 作図方法 注記の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 道路台帳注記001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(81) マスク

1. 地物定義 道路台帳平面図・道路台帳区域線図の道路部の背景図をマスクするためのデータ。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BGD-BGDA-MASK
作業機関が作成するデータ S-BGD-BGDA-MASK 001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 道路台帳平面図の道路縁または道路台帳区域線図の区域線より外側の範囲を取得する。
6. 図形名称 マスク001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(82) 大図郭(旧座標)

1. 地物定義 道路台帳平面図の世界測地系への移行前に、日本測地系で作成されていた図郭（大図郭）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-TTL-TTL-KYUZUKAKU_L
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
1 図葉の範囲を取得する。
6. 図形名称 大図郭（旧座標）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
大図郭番号	定義 道路台帳平面図 1 図葉（大図郭番号） （例）大図郭番号：10 の場合 入力値：10 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		10
国土基本図図郭番号	定義 平面直角座標系に基づき区切られた図郭。 （例）9 系 LD531 の場合 入力値：LD53-1 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		LD53-1

1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

大図郭名	定義 道路台帳平面図1図葉(大図郭) の名称 (例) 大図郭名称：美しが丘西 の場合 入力値：美しが丘西 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		美しが丘西
------	---	-----	--	-------

(83) 小図郭(旧座標)

1. 地物定義 道路台帳平面図の世界測地系への移行前に、日本測地系で作成されていた図郭（小図郭）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-TTL-TTL-KYUZUKAKU_S
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
1 図葉の範囲を取得する。
6. 図形名称 旧図郭（小図郭） 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
大図郭番号	定義 道路台帳平面図 1 図葉（大図郭番号） （例）大図郭番号：10 の場合 入力値：10 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		10

1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

国土基本図図郭番号	定義 平面直角座標系に基づき区切られた図郭。 (例) 9系 LD531 の場合 入力値 : LD53-1 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		LD53-1
小図郭番号	定義 道路台帳平面図 1 図葉 (小図郭番号) (例) 小図郭番号 : 40 の場合 入力値 : 40 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		40
図郭番号	定義 道路台帳平面図 1 図葉の番号。 大図郭番号と小図郭番号で構成する。 (例) 大図郭番号 : 10、小図郭番号 : 40 の場合 入力値 : 10-40 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		10-40
大図郭名	定義 道路台帳平面図 1 図葉(大図郭)の名称 (例) 大図郭名称 : 美しが丘西の場合 入力値 : 美しが丘西 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		美しが丘西

(84) 大図郭(新座標)

1. 地物定義 道路台帳平面図の世界測地系への移行後に、切り直した図郭（大図郭）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-TTL-TTL-SHINZUKAKU_L
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
1 図葉の範囲を取得する。
6. 図形名称 新図郭（大図郭） 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
大図郭番号	定義 道路台帳平面図 1 図葉（大図郭番号） （例）大図郭番号：10 の場合 入力値：10 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		10
国土基本図図郭番号	定義 平面直角座標系に基づき区切られた図郭。 （例）9 系 LD531 の場合 入力値：LD53-1 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		LD53-1

1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

大図郭名	定義 道路台帳平面図1図葉(大図郭) の名称 (例)大図郭名称:美しが丘西 の場合 入力値:美しが丘西 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		美しが丘西
------	--	-----	--	-------

(85) 小図郭(新座標)

1. 地物定義 道路台帳平面図の世界測地系への移行後に、切り直した図郭（小図郭）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-TTL-TTL-SHINZUKAKU_S
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
1 図葉の範囲を取得する。
6. 図形名称 新図郭（小図郭）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
大図郭番号	定義 道路台帳平面図 1 図葉（大図郭番号） （例）大図郭番号：10 の場合 入力値：10 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		10
国土基本図図郭番号	定義 平面直角座標系に基づき区切られた図郭。 （例）9系 LD531 の場合 入力値：LD53-1 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		LD53-1

1.道路台帳平面図データ（地形パッケージ・道路台帳要素パッケージ）

小図郭番号	<p>定義 道路台帳平面図 1 図葉（小図郭番号） （例）小図郭番号：40 の場合 入力値：40 定義域 地物が持ちえる内容とする。</p>	STR		40
図郭番号	<p>定義 道路台帳平面図 1 図葉の番号。 大図郭番号と小図郭番号で構成する。 （例）大図郭番号：10、小図郭番号：40 の場合 入力値：10-40 定義域 地物が持ちえる内容とする。</p>	STR		10-40
大図郭名	<p>定義 道路台帳平面図 1 図葉（大図郭）の名称 （例）大図郭名称：美しが丘西の場合 入力値：美しが丘西 定義域 地物が持ちえる内容とする。</p>	STR		美しが丘西

2. 道路台帳平面図データ(区間パッケージ・調書図面要素パッケージ)

(1) 道路部

1. 地物定義 車道、歩道、分離帯を含む道路部区域を表す。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRA-DOUROBU
作業機関が作成するデータ S-STR-STRA-DOUROBU001
3. 図形種類 面データ (ハッチング)
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準:
道路部の領域を取得する。
6. 図形名称 道路部001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
路線番号	路線番号。4桁とし、値のない桁は0埋めする。	STR		0246
区間番号	区間番号。2桁とし、値のない桁は0埋めする。	STR		20
キー項目	基礎数値ファイルの現行キー項目。 大メッシュ番号(3桁):国土基本図の図郭番号、小メッシュ番号(2桁)、道路種別(1桁)、道路名称(3桁)、路線番号(4桁)、路線枝番(1桁)、区間番号(2桁)で構成される16桁とする。値のない桁は0埋めする。	STR		123456995 0246020
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

(2) 調書路線名称

1. 地物定義 横浜市が管理する公道の名称をいう。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-TTL-TXT-CHOUSHORosenMEISHOU
作業機関が作成するデータ S-TTL-TXT-CHOUSHORosenMEISHOU001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
路線名称の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 調書路線名称001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		0246
データ有効期間 (開始)	データ有効期間 (開始)	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	データ有効期間 (終了)	STR		2011-03-07

(3) 起点記号

1. 地物定義 横浜市が管理する公道の起点を表す記号をいう。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-TTL-TXT-KITENKIGOU
作業機関が作成するデータ S-TTL-TXT-KITENKIGOU001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 路線起点に起点記号の始端が表示されるように取得する。
6. 図形名称 起点記号001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		246
角度	シンボルの角度	ANG	deg	0

(4) 終点記号

1. 地物定義 横浜市が管理する公道の終点を表す記号をいう。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-TTL-TXT-SHUUTENKIGOU
作業機関が作成するデータ S-TTL-TXT-SHUUTENKIGOU001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 路線終点到終点記号の終端が表示されるように取得する。
6. 図形名称 終点記号001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号。	STR		246
角度	シンボルの角度	ANG	deg	0

(5) 起点記号(図郭接合部)

1. 地物定義 図郭接合部における横浜市が管理する公道の起点を表す記号をいう。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-TTL-TXT-KITENKIGOUZUKAKUSETSUGOUB
U
作業機関が作成するデータ S-TTL-TXT-KITENKIGOUZUKAKUSETSUGOUB
U001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
取得基準:
5. 作図方法 図郭接合部において、路線起点側に起点記号（図郭接合部）の始端が表示されるように取得する。
6. 図形名称 起点記号（図郭接合部）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		246
角度	シンボルの角度	ANG	deg	0

(6) 終点記号(図郭接合部)

1. 地物定義 図郭接合部における横浜市が管理する公道の終点を表す記号をいう。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-TTL-TXT-SHUUTENKIGOUZUKAKUSETSUG
OUBU
作業機関が作成するデータ S-TTL-TXT-SHUUTENKIGOUZUKAKUSETSUG
OUBU001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
取得基準:
5. 作図方法 図郭接合部において、路線終点側に終点記号（図郭接合部）の終端が表示されるように取得する。
6. 図形名称 終点記号（図郭接合部）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		246
角度	シンボルの角度	ANG	deg	0

(7) 区間中心線

1. 地物定義 管理する道路区間ごとの中心位置を示す。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-BMKL-KUKANCHUUSHINSEN
作業機関が作成するデータ S-BMK-BMKL-KUKANCHUUSHINSEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
区間中心の位置を結線し取得する。調書図面に記入されたティックを目印とする。
6. 図形名称 区間中心線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		246
区間番号	区間番号	STR		200

(8) 調書幅員寸法

1. 地物定義 車道、歩道、分離帯等道路を構成する要素の幅をいう。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-CHOUSHOFUKUINSUNPOU
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-CHOUSHOFUKUINSUNPOU001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 幅員寸法の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 調書幅員寸法001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		246
区間番号	区間番号	STR		200

(9) 調書幅員寸法線(幅員)

1. 地物定義 現況道路を構成する要素の内、車道・歩道・中央分離帯等の幅を示す幅員寸法の幅員部
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-CHOUSHOFUKUINSUNPOUSENFU
KUIN
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-CHOUSHOFUKUINSUNPOUSENFU
KUIN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 幅員寸法線の幅員の位置を取得する。
6. 図形名称 調書幅員寸法線（幅員）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		246
区間番号	区間番号	STR		200

(10) 調書幅員寸法線(矢印)

1. 地物定義 現況道路を構成する要素の内、車道・歩道・中央分離帯等の幅を示す幅員寸法線の矢印部
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-CHOUSHOFUKUINSUNPOUSENYA
JIRUSHI
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-CHOUSHOFUKUINSUNPOUSENYA
JIRUSHI001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 幅員寸法線の矢印の位置を取得する。
6. 図形名称 調書幅員寸法線（矢印） 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		246
区間番号	区間番号	STR		200

(11) 調書幅員寸法引出線

1. 地物定義 幅員寸法線が道路の外に記載されている場合に使用する。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-CHOUSHOFUKUINSUNPOUHIKID
ASHISEN
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-CHOUSHOFUKUINSUNPOUHIKID
ASHISEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 幅員寸法引出線の位置を取得する。
6. 図形名称 調書幅員寸法引出線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		246
区間番号	区間番号	STR		200

(12) 区割線(起点)

1. 地物定義 路線の起点位置を示す境界線
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-HTXT-KUKAKUSENKITEN
作業機関が作成するデータ S-STR-HTXT-KUKAKUSENKITEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 起点における区割線の位置を取得する。
6. 図形名称 区割線（起点）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		246

(13) 区割線(終点)

1. 地物定義 路線の終点位置を示す境界線
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-HTXT-KUKAKUSENSHUUTEN
作業機関が作成するデータ S-STR-HTXT-KUKAKUSENSHUUTEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 終点における区割線の位置を取得する。
6. 図形名称 区割線（終点）
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		246

(14) 区割線

1. 地物定義 区間を区切るための境界線
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-KUWARISEN
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-KUWARISEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 起点・終点以外の区割線の位置を取得する。
6. 図形名称 区割線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		246

(15) 境界補助線

1. 地物定義 区割線以外の区間を明示する線分（路線を構造化する際に必要となる線分）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-KYOUKAIHOJYOSEN
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-KYOUKAIHOJYOSEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 境界補助線の位置を取得する。
6. 図形名称 境界補助線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03

（16） 区間番号

道路区間の識別番号をいう。

1. 地物定義 測定基図には路線毎に原則として1番目の区間を1として終点方向に向かい1ずつ増加した数字が記入されている。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-KUKANBANGOU
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-KUKANBANGOU001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 区間内の番号の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 区間番号001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		246

(17) 橋梁区域

1. 地物定義 橋梁部の範囲を示した線。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRA-KYOURYOUKUIKI
作業機関が作成するデータ S-STR-STRA-KYOURYOUKUIKI001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 橋梁部の領域を取得する。
6. 図形名称 橋梁区域001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】										
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03										
橋梁名称	橋梁名称	STR		〇〇橋										
橋種	橋梁使用材料の種別。 下のコード表より値を選択する。 定義域 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>橋種</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木橋 (W)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コンクリート橋 (Cb)</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>鋼橋 (S)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>石橋 (I)</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	橋種	値	木橋 (W)	1	コンクリート橋 (Cb)	2	鋼橋 (S)	3	石橋 (I)	4	INN		2
橋種	値													
木橋 (W)	1													
コンクリート橋 (Cb)	2													
鋼橋 (S)	3													
石橋 (I)	4													
路線番号	路線番号	STR		246										
延長 (L)	橋梁の延長	LEN	m	55.50										
幅員 (W)	橋梁の幅員	LEN	m	8.00										
面積 (S)	橋梁の面積	ARE	m ²	4500.00										

(18) 橋梁注記

1. 地物定義 橋梁の注記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-KYOURYOUKCHUUKI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-KYOURYOUKCHUUKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 橋梁注記の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 橋梁注記 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		246
橋梁番号	橋梁番号	STR		110

(19) 橋梁注記表現補助線

1. 地物定義 橋梁注記を表示するための補助線。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-HTXT-KYOURYOUKCHUUKIHYOUGEN
HOJYOSEN
作業機関が作成するデータ S-STR-HTXT-KYOURYOUKCHUUKIHYOUGEN
HOJYOSEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 橋梁注記表現補助線の位置を取得する。
6. 図形名称 橋梁注記表現補助線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		246
橋梁番号	橋梁番号	STR		110

(20) 踏切区域

1. 地物定義 踏切部の範囲を示した線。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRA-FUMIKIRIKUIKI
作業機関が作成するデータ S-STR-STRA-FUMIKIRIKUIKI001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 踏切部の領域を取得する。
6. 図形名称 踏切区域001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
踏切名称	踏切名称	STR		〇〇踏切
路線番号	路線番号	STR		200
延長（L）	踏切の延長	LEN	m	12.0
幅員（W）	踏切の幅員	LEN	m	8.0

(21) 踏切注記

1. 地物定義 踏切の注記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-FUMIKIRICHUUKI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-FUMIKIRICHUUKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 踏切注記の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 踏切注記001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		200
踏切番号	踏切番号	STR		200

(22) 踏切注記表現補助線

1. 地物定義 踏切注記を表示するための補助線。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-HTXT-FUMIKIRICHUUKIHYOUGENHOJ
YOSEN
作業機関が作成するデータ S-STR-HTXT-FUMIKIRICHUUKIHYOUGENHOJ
YOSEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 踏切注記表現補助線の位置を取得する。
6. 図形名称 踏切注記表現補助線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		200
踏切番号	踏切番号	STR		200

(23) トンネル区域

1. 地物定義 トンネル部の範囲を示した線。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRA-TONNERUKUIKI
 作業機関が作成するデータ S-STR-STRA-TONNERUKUIKI001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
 取得基準：
5. 作図方法 トンネル部の領域を取得する。
6. 図形名称 トンネル区域001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
トンネル名称	トンネル名称	STR		〇〇トンネル
路線番号	路線番号	STR		200
延長 (L)	トンネルの延長	LEN	m	100.00
幅員 (W)	トンネルの幅員	LEN	m	7.00
面積 (S)	トンネルの面積	ARE	m ²	780.00

(24) トンネル注記

1. 地物定義 トンネルの注記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-TONNERUCHUUKI
 作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-TONNERUCHUUKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
 取得基準：
5. 作図方法 トンネル注記の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 トンネル注記 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		200
トンネル番号	トンネル番号	STR		150

(25) トンネル注記表現補助線

1. 地物定義 トンネル注記を表示するための補助線。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-HTXT-TONNERUCHUUKIHYOUGENHO
JYOSEN
作業機関が作成するデータ S-STR-HTXT-TONNERUCHUUKIHYOUGENHO
JYOSEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 トンネル注記表現補助線の位置を取得する。
6. 図形名称 トンネル注記表現補助線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		200
トンネル番号	トンネル番号	STR		150

(26) 立体横断施設区域

1. 地物定義 立体横断施設部の範囲を示した線。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRA-RITTAIOUDANSHISETSUUIKI
作業機関が作成するデータ S-STR-STRA-RITTAIOUDANSHISETSUUIKI001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 立体横断施設部の領域を取得する。
6. 図形名称 立体横断施設区域001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】																		
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03																		
立体横断施設名称	立体横断施設の名称。	STR		〇〇横断歩道橋																		
立体横断施設種別	立体横断施設の種別。 定義域 下のコード表より値を選択する。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>立体横断施設</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>立体横断施設無し</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>横断歩道橋[階段式]</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>横断歩道橋[スロープ式]</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>横断歩道橋[押上げ式]</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>地下横断歩道[階段式]</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>地下横断歩道[スロープ式]</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>地下横断歩道[押上げ式]</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	立体横断施設	値	立体横断施設無し	0	横断歩道橋[階段式]	1	横断歩道橋[スロープ式]	2	横断歩道橋[押上げ式]	3	地下横断歩道[階段式]	4	地下横断歩道[スロープ式]	5	地下横断歩道[押上げ式]	6	その他	7	INN		1
立体横断施設	値																					
立体横断施設無し	0																					
横断歩道橋[階段式]	1																					
横断歩道橋[スロープ式]	2																					
横断歩道橋[押上げ式]	3																					
地下横断歩道[階段式]	4																					
地下横断歩道[スロープ式]	5																					
地下横断歩道[押上げ式]	6																					
その他	7																					
路線番号	路線番号	STR		200																		
区間番号	トンネル番号	STR		150																		

(27) 立体横断施設注記

1. 地物定義 立体横断施設の注記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-RITTAIOUDANSHISETSUCHUUKI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-RITTAIOUDANSHISETSUCHUUKI01
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 立体横断施設注記の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
6. 図形名称 立体横断施設注記001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		200
立体横断施設番号	立体横断施設番号	STR		100

(28) 立体横断施設注記表現補助線

1. 地物定義 立体横断施設注記を表示するための補助線。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-HTXT-RITTAIOUDANSHISETSUCHUUKI
HYOUGENHOJYOSEN
作業機関が作成するデータ S-STR-HTXT-RITTAIOUDANSHISETSUCHUUKI
HYOUGENHOJYOSEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 立体横断施設注記表現補助線の位置を取得する。
6. 図形名称 立体横断施設注記表現補助線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
作成年月	データ作成年月	STR		2011-03
路線番号	路線番号	STR		200
立体横断施設番号	立体横断施設番号	STR		100

3. 道路台帳区域線図データ

(1) 道路区域線

1. 地物定義 道路法による道路の区域とその他の区域の境界線。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW-DOUROKUIKISEN
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW-DOUROKUIKISEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 道路の区域の境界を直線で取得する。GM_Curve の始点および終点の座標の値は、道路境界標または図上点の座標の値と一致しなければならない。また、道路区域線に中間点は存在してはならない。
6. 図形名称 道路区域線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
長さ	両端の道路境界標または図上点の座標値から算出した道路区域線の長さ。単位はメートルとし、少数第4位を切り捨て小数第3位を四捨五入した小数第2位までの値とする。 定義域 地物が持ちえる長さとする。	LEN	m	30.15

線番号	<p>定義 道路区域線と区域線距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。 (例) 010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 010400000099010410000100 定義域 地物が持ちえる値とする。なお、クラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。</p>	STR		010400000 099010410 000100																				
告示区分	<p>定義 道路区域線が決定された告示区分の種別。 定義域 下のコード表より値を選択する。</p> <table border="1" data-bbox="448 994 778 1328"> <thead> <tr> <th>告示区分</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新設道路(横浜市)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>道路敷</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>廃止道路</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>水路敷</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>新設道路(国道)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>水路の所管替</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>廃止水路</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>青地</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>誤表示</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	告示区分	値	新設道路(横浜市)	1	道路敷	2	廃止道路	3	水路敷	4	新設道路(国道)	5	水路の所管替	6	廃止水路	7	青地	8	誤表示	9	INN		1
告示区分	値																							
新設道路(横浜市)	1																							
道路敷	2																							
廃止道路	3																							
水路敷	4																							
新設道路(国道)	5																							
水路の所管替	6																							
廃止水路	7																							
青地	8																							
誤表示	9																							

(2) 道路区域線(重複管理)

1. 地物定義 道路内にある、重複管理区域の境界を表す線分のうち、道路区域線同様に、境界標、及び境界標間距離による管理が行われている線分。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW-DOUROKUIKISENCHOUFUKU
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW-DOUROKUIKISENCHOUFUKU001
3. 図形種類 線データ (線分、折線)
4. 色 任意
取得基準:
5. 作図方法 重複管理区域の境界を直線で取得する。GM_Curve の始点および終点の座標の値は、道路境界標または図上点の座標の値と一致しなければならない。また、道路区域線(重複管理)に中間点は存在してはならない。
6. 図形名称 道路区域線 (重複管理) 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
長さ	両端の道路境界標または図上 点の座標値から算出した道路 区域線の長さ。単位はメートル とし、少数第4位を切り捨て小 数第3位を四捨五入した小数第 2位までの値とする。 定義域 地物が持ちえる長さとする。	LEN	m	30.15

線番号	<p>定義 道路区域線（重複管理）と区域線距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の 24byte で構成する。</p> <p>（例）010-40 の図郭にある道路境界標番号 99 と 010-41 の図郭にある 100 を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 010400000099010410000100</p> <p>定義域 地物が持ちえる値とする。なお、クラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。</p>	STR		010400000 099010410 000100																				
告示区分	<p>定義 道路区域線が決定された告示区分の種別。</p> <p>定義域 下のコード表より値を選択する。</p> <table border="1" data-bbox="448 1025 759 1361"> <thead> <tr> <th>告示区分</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新設道路（横浜市）</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>道路敷</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>廃止道路</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>水路敷</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>新設道路（国道）</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>水路の所管替</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>廃止水路</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>青地</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>誤表示</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	告示区分	値	新設道路（横浜市）	1	道路敷	2	廃止道路	3	水路敷	4	新設道路（国道）	5	水路の所管替	6	廃止水路	7	青地	8	誤表示	9	INN		1
告示区分	値																							
新設道路（横浜市）	1																							
道路敷	2																							
廃止道路	3																							
水路敷	4																							
新設道路（国道）	5																							
水路の所管替	6																							
廃止水路	7																							
青地	8																							
誤表示	9																							

(3) 道路区域線(未確定)

1. 地物定義 道路内にある、未確定区域の境界を表す線分のうち、道路区域線同様に、境界標、及び境界標間距離による管理が行われている線分。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW-DOUROKUIKISENMIKAKUTEI
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW-DOUROKUIKISENMIKAKUTEI001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 未確定区域の境界を直線で取得する。GM_Curve の始点および終点の座標の値は、道路境界標または図上点の座標の値と一致しなければならない。また、道路区域線（未確定）に中間点は存在してはならない。
6. 図形名称 道路区域線（未確定）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
長さ	両端の道路境界標または図上点の座標値から算出した道路区域線の長さ。単位はメートルとし、少数第4位を切り捨て小数第3位を四捨五入した小数第2位までの値とする。 定義域 地物が持ちえる長さとする。	LEN	m	30.15

線番号	<p>定義 道路区域線（未確定）と区域線距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の 24byte で構成する。</p> <p>(例) 010-40 の図郭にある道路境界標番号 99 と 010-41 の図郭にある 100 を結ぶ道路区域線の場合</p> <p>定義域 地物が持ちえる値とする。なお、クラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。</p>	STR		010400000 099010410 000100																				
告示区分	<p>定義 道路区域線が決定された告示区分の種別。</p> <p>定義域 下のコード表より値を選択する。</p> <table border="1" data-bbox="448 958 778 1294"> <thead> <tr> <th>告示区分</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新設道路（横浜市）</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>道路敷</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>廃止道路</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>水路敷</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>新設道路（国道）</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>水路の所管替</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>廃止水路</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>青地</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>誤表示</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	告示区分	値	新設道路（横浜市）	1	道路敷	2	廃止道路	3	水路敷	4	新設道路（国道）	5	水路の所管替	6	廃止水路	7	青地	8	誤表示	9	INN		1
告示区分	値																							
新設道路（横浜市）	1																							
道路敷	2																							
廃止道路	3																							
水路敷	4																							
新設道路（国道）	5																							
水路の所管替	6																							
廃止水路	7																							
青地	8																							
誤表示	9																							

(4) 区域線距離

1. 地物定義 道路区域線の延長を表す文字列。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-KUIKISENKYORI
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-KUIKISENKYORI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 道路区域線の延長を表す文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 1.5mm とする。
6. 図形名称 区域線距離001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

線番号	<p>定義 道路区域線と区域線距離とを 関係させるための番号。本製品 仕様書で定義する道路境界標 の始点、終点の番号および図郭 番号の 24byte で構成する。 (例) 010-40 の図郭にある道路 境界標番号 99 と 010-41 の図郭 にある 100 を結ぶ道路区域線の 場合 入力値： 010400000099010410000100 定義域 地物が持ちえる値とする。なお クラス内において同じ値を持 つインスタンスの存在は認め ない。</p>	STR		010400000 099010410 000100
-----	---	-----	--	----------------------------------

(5) 区域線距離(拡大)

1. 地物定義 道路区域線の延長を表す文字列。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-KUIKISENKYORIKAKUDAI
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-KUIKISENKYORIKAKUDAI001
3. 図形種類 文字データ (文字要素)
4. 色 任意
取得基準:
5. 作図方法 道路区域線の延長を表す文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺 1/200 で表示した状態で、図上 1.5mm とする。
6. 図形名称 区域線距離 (拡大) 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

線番号	<p>定義 道路境界標間距離表示線と道路境界標間距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。</p> <p>(例) 010-40 の図郭にある道路境界標番号 99 と 010-41 の図郭にある 100 を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 010400000099010410000100</p> <p>定義域 地物が持ちえる値とする。なおクラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。</p>	STR		010400000 099010410 000100
-----	--	-----	--	----------------------------------

(6) 区域線距離(重複管理)

1. 地物定義 道路区域線（重複管理）の延長を表す文字列。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM- KUIKISENKYORICHOUFUKU
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM- KUIKISENKYORICHOUFUKU001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 道路区域線の延長を表す文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 1.5mm とする。
6. 図形名称 区域線距離（重複管理）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

線番号	<p>定義 道路境界標間距離表示線と道路境界標間距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。</p> <p>(例) 010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 010400000099010410000100</p> <p>定義域 地物が持ちえる値とする。なおクラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。</p>	STR		010400000 099010410 000100
-----	---	-----	--	----------------------------------

(7) 道路境界標(公共座標)

1. 地物定義 道路法による道路の区域とその他の区域の境界を示す標識のうち、公共測量成果を有するもの。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-KOUKYOUZAHYOU
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-KOUKYOUZAHYOU001
3. 図形種類 点データ (点マーカ) ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
取得基準:
5. 作図方法 道路境界の座標値を取得する。GM_Point の座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。
6. 図形名称 道路境界標 (公共座標) 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
X 座標	定義 道路境界標の測量成果の X 座標。 定義域 地理範囲で示された範囲内であること。	RNN		1000.000
Y 座標	定義 道路境界標の測量成果の Y 座標。 定義域 地理範囲で示された範囲内であること。	RNN		1000.000

事業種別	<p>定義 道路境界標が設置された事業の種別。</p> <p>定義域 下のコード表より値を選択する。</p> <table border="1" data-bbox="448 398 802 667"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現況補正</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>境界調査</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>道路移管</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>国土調査</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>14条地区</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>誤表示</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table>	事業種別	値	現況補正	1	境界調査	2	道路移管	3	国土調査	4	14条地区	5	誤表示	6	その他	99	INN		2		
事業種別	値																					
現況補正	1																					
境界調査	2																					
道路移管	3																					
国土調査	4																					
14条地区	5																					
誤表示	6																					
その他	99																					
杭種	<p>定義 道路境界標の種別。</p> <p>定義域 下のコード表より値を選択する。</p> <table border="1" data-bbox="448 913 802 1216"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>鋳物</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>プレート</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>鋳</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>刻</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>プラスチック杭</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>印・ペンキ</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table>	事業種別	値	石	1	鋳物	2	プレート	3	鋳	4	刻	5	プラスチック杭	6	印・ペンキ	7	その他	99	INN		1
事業種別	値																					
石	1																					
鋳物	2																					
プレート	3																					
鋳	4																					
刻	5																					
プラスチック杭	6																					
印・ペンキ	7																					
その他	99																					

管理者	<p>定義 道路境界標の管理者。</p> <p>定義域 下のコード表より値を選択する。管理者不明の場合は、NULLとする</p> <table border="1" data-bbox="453 398 759 1823"> <thead> <tr> <th>管理者</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>横浜市</td><td>1</td></tr> <tr><td>横浜市道路</td><td>2</td></tr> <tr><td>横浜市河川</td><td>3</td></tr> <tr><td>横浜市公園</td><td>4</td></tr> <tr><td>横浜市下水</td><td>5</td></tr> <tr><td>横浜市水道</td><td>6</td></tr> <tr><td>横浜市交通</td><td>7</td></tr> <tr><td>横浜市建築</td><td>8</td></tr> <tr><td>横浜市学校</td><td>9</td></tr> <tr><td>国土交通省</td><td>10</td></tr> <tr><td>厚生労働省</td><td>11</td></tr> <tr><td>総務省</td><td>12</td></tr> <tr><td>防衛省</td><td>13</td></tr> <tr><td>神奈川県</td><td>14</td></tr> <tr><td>町田市</td><td>15</td></tr> <tr><td>川崎市</td><td>16</td></tr> <tr><td>鎌倉市</td><td>17</td></tr> <tr><td>逗子市</td><td>18</td></tr> <tr><td>藤沢市</td><td>19</td></tr> <tr><td>大和市</td><td>20</td></tr> <tr><td>横須賀市</td><td>21</td></tr> <tr><td>東京電力</td><td>22</td></tr> <tr><td>東京ガス</td><td>23</td></tr> <tr><td>日本電信電話(NTT)</td><td>24</td></tr> <tr><td>JR (JR東日本、JR東海、国鉄)</td><td>25</td></tr> <tr><td>相模鉄道</td><td>26</td></tr> <tr><td>東京急行</td><td>27</td></tr> <tr><td>京浜急行</td><td>28</td></tr> <tr><td>日本道路公団</td><td>29</td></tr> <tr><td>東日本高速道路</td><td>30</td></tr> <tr><td>中日本高速道路</td><td>31</td></tr> <tr><td>首都高速道路</td><td>32</td></tr> <tr><td>独立行政法人都市再生機構</td><td>33</td></tr> <tr><td>市住宅供給公社</td><td>34</td></tr> <tr><td>県住宅供給公社</td><td>35</td></tr> <tr><td>区画整理等</td><td>36</td></tr> <tr><td>行政界</td><td>37</td></tr> <tr><td>国土調査</td><td>38</td></tr> <tr><td>民間</td><td>99</td></tr> </tbody> </table>	管理者	値	横浜市	1	横浜市道路	2	横浜市河川	3	横浜市公園	4	横浜市下水	5	横浜市水道	6	横浜市交通	7	横浜市建築	8	横浜市学校	9	国土交通省	10	厚生労働省	11	総務省	12	防衛省	13	神奈川県	14	町田市	15	川崎市	16	鎌倉市	17	逗子市	18	藤沢市	19	大和市	20	横須賀市	21	東京電力	22	東京ガス	23	日本電信電話(NTT)	24	JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25	相模鉄道	26	東京急行	27	京浜急行	28	日本道路公団	29	東日本高速道路	30	中日本高速道路	31	首都高速道路	32	独立行政法人都市再生機構	33	市住宅供給公社	34	県住宅供給公社	35	区画整理等	36	行政界	37	国土調査	38	民間	99	INN		1
管理者	値																																																																																			
横浜市	1																																																																																			
横浜市道路	2																																																																																			
横浜市河川	3																																																																																			
横浜市公園	4																																																																																			
横浜市下水	5																																																																																			
横浜市水道	6																																																																																			
横浜市交通	7																																																																																			
横浜市建築	8																																																																																			
横浜市学校	9																																																																																			
国土交通省	10																																																																																			
厚生労働省	11																																																																																			
総務省	12																																																																																			
防衛省	13																																																																																			
神奈川県	14																																																																																			
町田市	15																																																																																			
川崎市	16																																																																																			
鎌倉市	17																																																																																			
逗子市	18																																																																																			
藤沢市	19																																																																																			
大和市	20																																																																																			
横須賀市	21																																																																																			
東京電力	22																																																																																			
東京ガス	23																																																																																			
日本電信電話(NTT)	24																																																																																			
JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25																																																																																			
相模鉄道	26																																																																																			
東京急行	27																																																																																			
京浜急行	28																																																																																			
日本道路公団	29																																																																																			
東日本高速道路	30																																																																																			
中日本高速道路	31																																																																																			
首都高速道路	32																																																																																			
独立行政法人都市再生機構	33																																																																																			
市住宅供給公社	34																																																																																			
県住宅供給公社	35																																																																																			
区画整理等	36																																																																																			
行政界	37																																																																																			
国土調査	38																																																																																			
民間	99																																																																																			

告示日	定義 道路境界の告示年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
完了月日	定義 横浜市道路局道路調査課の決 裁が終了した入力年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
補正番号	定義 道路境界の補正番号。区名、年 度（和暦）、通し番号（2桁）で 構成する。年度と通し場番号は ハイフンで接続する。存在しな い場合は、NULL とする。 （例）緑区、平成 22 年度、通 し番号 1 の場合 入力値：緑 22-01 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		緑 22-01
境界調査簿冊番号	定義 道水路等境界調査の簿冊番号。 区名、冊番、号番で構成する。 存在しない場合は、NULL とす る。 （例）緑区、1 冊、1 号の場合 入力値：緑区 1 冊 1 号 定義域 地物が持ちえる名称とする。	STR		緑区 1 冊 1 号
境界調査決裁日	定義 道水路等境界調査の決裁年月 日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
図面番号	定義 道路台帳区域線図 1 図葉の図郭 番号。 大メッシュ番号と小メッシュ 番号で構成する。 （例）大メッシュ番号：10、小 メッシュ番号：40 の場合 入力値：10-40 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		10-40

道路境界標番号	<p>定義 道路境界標を識別するための番号。番号は先頭0詰め7桁とする。 (例) 番号99の場合 入力値：0000099 定義域 地物が持ちえる名称とする。</p>	STR		0000099
入力年度	<p>横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年度。年度は和暦で記述する。 (例) 昭和63年度の場合 入力値：昭和63年度 (年度の値は半角数字とする) 定義域 地物が持ちえる年度とする。</p>	STR		昭和63年度
新図郭	<p>道路台帳区域線図1図葉の新図郭番号。 大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40の場合 入力値：10-40 定義域 地物が持ちえる値とする。</p>	STR		10-40

(8) 道路境界標(任意座標)

1. 地物定義 道路法による道路の区域とその他の区域の境界を示す標識のうち、公共測量成果を有さない任意座標のもの。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-NINIZAHYOU
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-NINIZAHYOU001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
取得基準:
5. 作図方法 道路境界の座標値を取得する。GM_Point の座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。
6. 図形名称 道路境界標（任意座標）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
X 座標	定義 道路境界標の測量成果の X 座標。 定義域 地理範囲で示された範囲内であること。	RNN		1000.000
Y 座標	定義 道路境界標の測量成果の Y 座標。 定義域 地理範囲で示された範囲内であること。	RNN		1000.000

事業種別	<p>定義 道路境界標が設置された事業の種別。</p> <p>定義域 下のコード表より値を選択する。</p> <table border="1" data-bbox="448 398 802 667"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現況補正</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>境界調査</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>道路移管</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>国土調査</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>14条地区</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>誤表示</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table>	事業種別	値	現況補正	1	境界調査	2	道路移管	3	国土調査	4	14条地区	5	誤表示	6	その他	99	INN		2		
事業種別	値																					
現況補正	1																					
境界調査	2																					
道路移管	3																					
国土調査	4																					
14条地区	5																					
誤表示	6																					
その他	99																					
杭種	<p>定義 道路境界標の種別。</p> <p>定義域 下のコード表より値を選択する。</p> <table border="1" data-bbox="448 913 802 1216"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>鋳物</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>プレート</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>鋳</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>刻</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>プラスチック杭</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>印・ペンキ</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table>	事業種別	値	石	1	鋳物	2	プレート	3	鋳	4	刻	5	プラスチック杭	6	印・ペンキ	7	その他	99	INN		1
事業種別	値																					
石	1																					
鋳物	2																					
プレート	3																					
鋳	4																					
刻	5																					
プラスチック杭	6																					
印・ペンキ	7																					
その他	99																					

管理者	<p>定義 道路境界標の管理者。</p> <p>定義域 下のコード表より値を選択する。管理者不明の場合は、NULLとする</p> <table border="1" data-bbox="448 398 815 1823"> <thead> <tr> <th>管理者</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>横浜市</td><td>1</td></tr> <tr><td>横浜市道路</td><td>2</td></tr> <tr><td>横浜市河川</td><td>3</td></tr> <tr><td>横浜市公園</td><td>4</td></tr> <tr><td>横浜市下水</td><td>5</td></tr> <tr><td>横浜市水道</td><td>6</td></tr> <tr><td>横浜市交通</td><td>7</td></tr> <tr><td>横浜市建築</td><td>8</td></tr> <tr><td>横浜市学校</td><td>9</td></tr> <tr><td>国土交通省</td><td>10</td></tr> <tr><td>厚生労働省</td><td>11</td></tr> <tr><td>総務省</td><td>12</td></tr> <tr><td>防衛省</td><td>13</td></tr> <tr><td>神奈川県</td><td>14</td></tr> <tr><td>町田市</td><td>15</td></tr> <tr><td>川崎市</td><td>16</td></tr> <tr><td>鎌倉市</td><td>17</td></tr> <tr><td>逗子市</td><td>18</td></tr> <tr><td>藤沢市</td><td>19</td></tr> <tr><td>大和市</td><td>20</td></tr> <tr><td>横須賀市</td><td>21</td></tr> <tr><td>東京電力</td><td>22</td></tr> <tr><td>東京ガス</td><td>23</td></tr> <tr><td>日本電信電話(NTT)</td><td>24</td></tr> <tr><td>JR (JR東日本、JR東海、国鉄)</td><td>25</td></tr> <tr><td>相模鉄道</td><td>26</td></tr> <tr><td>東京急行</td><td>27</td></tr> <tr><td>京浜急行</td><td>28</td></tr> <tr><td>日本道路公団</td><td>29</td></tr> <tr><td>東日本高速道路</td><td>30</td></tr> <tr><td>中日本高速道路</td><td>31</td></tr> <tr><td>首都高速道路</td><td>32</td></tr> <tr><td>独立行政法人都市再生機構</td><td>33</td></tr> <tr><td>市住宅供給公社</td><td>34</td></tr> <tr><td>県住宅供給公社</td><td>35</td></tr> <tr><td>区画整理等</td><td>36</td></tr> <tr><td>行政界</td><td>37</td></tr> <tr><td>国土調査</td><td>38</td></tr> <tr><td>民間</td><td>99</td></tr> </tbody> </table>	管理者	値	横浜市	1	横浜市道路	2	横浜市河川	3	横浜市公園	4	横浜市下水	5	横浜市水道	6	横浜市交通	7	横浜市建築	8	横浜市学校	9	国土交通省	10	厚生労働省	11	総務省	12	防衛省	13	神奈川県	14	町田市	15	川崎市	16	鎌倉市	17	逗子市	18	藤沢市	19	大和市	20	横須賀市	21	東京電力	22	東京ガス	23	日本電信電話(NTT)	24	JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25	相模鉄道	26	東京急行	27	京浜急行	28	日本道路公団	29	東日本高速道路	30	中日本高速道路	31	首都高速道路	32	独立行政法人都市再生機構	33	市住宅供給公社	34	県住宅供給公社	35	区画整理等	36	行政界	37	国土調査	38	民間	99	INN		1
管理者	値																																																																																			
横浜市	1																																																																																			
横浜市道路	2																																																																																			
横浜市河川	3																																																																																			
横浜市公園	4																																																																																			
横浜市下水	5																																																																																			
横浜市水道	6																																																																																			
横浜市交通	7																																																																																			
横浜市建築	8																																																																																			
横浜市学校	9																																																																																			
国土交通省	10																																																																																			
厚生労働省	11																																																																																			
総務省	12																																																																																			
防衛省	13																																																																																			
神奈川県	14																																																																																			
町田市	15																																																																																			
川崎市	16																																																																																			
鎌倉市	17																																																																																			
逗子市	18																																																																																			
藤沢市	19																																																																																			
大和市	20																																																																																			
横須賀市	21																																																																																			
東京電力	22																																																																																			
東京ガス	23																																																																																			
日本電信電話(NTT)	24																																																																																			
JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25																																																																																			
相模鉄道	26																																																																																			
東京急行	27																																																																																			
京浜急行	28																																																																																			
日本道路公団	29																																																																																			
東日本高速道路	30																																																																																			
中日本高速道路	31																																																																																			
首都高速道路	32																																																																																			
独立行政法人都市再生機構	33																																																																																			
市住宅供給公社	34																																																																																			
県住宅供給公社	35																																																																																			
区画整理等	36																																																																																			
行政界	37																																																																																			
国土調査	38																																																																																			
民間	99																																																																																			

告示日	定義 道路境界の告示年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
完了月日	定義 横浜市道路局道路調査課の決 裁が終了した入力年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
補正番号	定義 道路境界の補正番号。区名、年 度（和暦）、通し番号（2桁）で 構成する。年度と通し場番号は ハイフンで接続する。存在しな い場合は、NULL とする。 （例）緑区、平成 22 年度、通 し番号 1 の場合 入力値：緑 22-01 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		緑 22-01
境界調査簿冊番号	定義 道水路等境界調査の簿冊番号。 区名、冊番、号番で構成する。 存在しない場合は、NULL とす る。 （例）緑区、1 冊、1 号の場合 入力値：緑区 1 冊 1 号 定義域 地物が持ちえる名称とする。	STR		緑区 1 冊 1 号
境界調査決裁日	定義 道水路等境界調査の決裁年月 日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
図面番号	定義 道路台帳区域線図 1 図葉の番 号。大メッシュ番号と小メッ シュ番号で構成する。 （例）大メッシュ番号：10、小 メッシュ番号：40 の場合 入力値：10-40 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		10-40

点番号	定義 道路境界標を識別するための番号。番号は先頭0 詰め7桁とし、頭にNを付与する。 (例) 番号99の場合 入力値：N0000099 定義域 地物が持ちえる値とする。なお、クラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。	STR		N0000099
-----	---	-----	--	----------

(9) 図上点(公共座標)

1. 地物定義 道路法による道路の区域とその他の区域の境界線の折れ点のうち、測量計算により求められたもの。道路境界標は設置されていない。公共測量成果を有する。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW-KOUKYOUZAHYOU
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW-KOUKYOUZAHYOU001
3. 図形種類 点データ (点マーカ) ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
取得基準:
5. 作図方法 図上点の座標値を取得する。GM_Point の座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。
6. 図形名称 図上点 (公共座標) 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
X 座標	定義 道路境界標の測量成果の X 座標。 定義域 地理範囲で示された範囲内であること。	RNN		1000.000
Y 座標	定義 道路境界標の測量成果の Y 座標。 定義域 地理範囲で示された範囲内であること。	RNN		1000.000
事業種別	定義	INN		2

	<p>道路境界標が設置された事業の種別。 定義域 下のコード表より値を選択する。</p> <table border="1" data-bbox="448 365 802 633"><thead><tr><th>事業種別</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>現況補正</td><td>1</td></tr><tr><td>境界調査</td><td>2</td></tr><tr><td>道路移管</td><td>3</td></tr><tr><td>国土調査</td><td>4</td></tr><tr><td>14条地区</td><td>5</td></tr><tr><td>誤表示</td><td>6</td></tr><tr><td>その他</td><td>99</td></tr></tbody></table>	事業種別	値	現況補正	1	境界調査	2	道路移管	3	国土調査	4	14条地区	5	誤表示	6	その他	99			
事業種別	値																			
現況補正	1																			
境界調査	2																			
道路移管	3																			
国土調査	4																			
14条地区	5																			
誤表示	6																			
その他	99																			

管理者	<p>定義 道路境界標の管理者。</p> <p>定義域 下のコード表より値を選択する。管理者不明の場合は、NULLとする</p> <table border="1" data-bbox="448 398 759 1825"> <thead> <tr> <th>管理者</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>横浜市</td><td>1</td></tr> <tr><td>横浜市道路</td><td>2</td></tr> <tr><td>横浜市河川</td><td>3</td></tr> <tr><td>横浜市公園</td><td>4</td></tr> <tr><td>横浜市下水</td><td>5</td></tr> <tr><td>横浜市水道</td><td>6</td></tr> <tr><td>横浜市交通</td><td>7</td></tr> <tr><td>横浜市建築</td><td>8</td></tr> <tr><td>横浜市学校</td><td>9</td></tr> <tr><td>国土交通省</td><td>10</td></tr> <tr><td>厚生労働省</td><td>11</td></tr> <tr><td>総務省</td><td>12</td></tr> <tr><td>防衛省</td><td>13</td></tr> <tr><td>神奈川県</td><td>14</td></tr> <tr><td>町田市</td><td>15</td></tr> <tr><td>川崎市</td><td>16</td></tr> <tr><td>鎌倉市</td><td>17</td></tr> <tr><td>逗子市</td><td>18</td></tr> <tr><td>藤沢市</td><td>19</td></tr> <tr><td>大和市</td><td>20</td></tr> <tr><td>横須賀市</td><td>21</td></tr> <tr><td>東京電力</td><td>22</td></tr> <tr><td>東京ガス</td><td>23</td></tr> <tr><td>日本電信電話(NTT)</td><td>24</td></tr> <tr><td>JR (JR東日本、JR東海、国鉄)</td><td>25</td></tr> <tr><td>相模鉄道</td><td>26</td></tr> <tr><td>東京急行</td><td>27</td></tr> <tr><td>京浜急行</td><td>28</td></tr> <tr><td>日本道路公団</td><td>29</td></tr> <tr><td>東日本高速道路</td><td>30</td></tr> <tr><td>中日本高速道路</td><td>31</td></tr> <tr><td>首都高速道路</td><td>32</td></tr> <tr><td>独立行政法人都市再生機構</td><td>33</td></tr> <tr><td>市住宅供給公社</td><td>34</td></tr> <tr><td>県住宅供給公社</td><td>35</td></tr> <tr><td>区画整理等</td><td>36</td></tr> <tr><td>行政界</td><td>37</td></tr> <tr><td>国土調査</td><td>38</td></tr> <tr><td>民間</td><td>99</td></tr> </tbody> </table>	管理者	値	横浜市	1	横浜市道路	2	横浜市河川	3	横浜市公園	4	横浜市下水	5	横浜市水道	6	横浜市交通	7	横浜市建築	8	横浜市学校	9	国土交通省	10	厚生労働省	11	総務省	12	防衛省	13	神奈川県	14	町田市	15	川崎市	16	鎌倉市	17	逗子市	18	藤沢市	19	大和市	20	横須賀市	21	東京電力	22	東京ガス	23	日本電信電話(NTT)	24	JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25	相模鉄道	26	東京急行	27	京浜急行	28	日本道路公団	29	東日本高速道路	30	中日本高速道路	31	首都高速道路	32	独立行政法人都市再生機構	33	市住宅供給公社	34	県住宅供給公社	35	区画整理等	36	行政界	37	国土調査	38	民間	99	INN		1
管理者	値																																																																																			
横浜市	1																																																																																			
横浜市道路	2																																																																																			
横浜市河川	3																																																																																			
横浜市公園	4																																																																																			
横浜市下水	5																																																																																			
横浜市水道	6																																																																																			
横浜市交通	7																																																																																			
横浜市建築	8																																																																																			
横浜市学校	9																																																																																			
国土交通省	10																																																																																			
厚生労働省	11																																																																																			
総務省	12																																																																																			
防衛省	13																																																																																			
神奈川県	14																																																																																			
町田市	15																																																																																			
川崎市	16																																																																																			
鎌倉市	17																																																																																			
逗子市	18																																																																																			
藤沢市	19																																																																																			
大和市	20																																																																																			
横須賀市	21																																																																																			
東京電力	22																																																																																			
東京ガス	23																																																																																			
日本電信電話(NTT)	24																																																																																			
JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25																																																																																			
相模鉄道	26																																																																																			
東京急行	27																																																																																			
京浜急行	28																																																																																			
日本道路公団	29																																																																																			
東日本高速道路	30																																																																																			
中日本高速道路	31																																																																																			
首都高速道路	32																																																																																			
独立行政法人都市再生機構	33																																																																																			
市住宅供給公社	34																																																																																			
県住宅供給公社	35																																																																																			
区画整理等	36																																																																																			
行政界	37																																																																																			
国土調査	38																																																																																			
民間	99																																																																																			

告示日	定義 道路境界の告示年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
完了月日	定義 横浜市道路局道路調査課の決 裁が終了した入力年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
補正番号	定義 道路境界の補正番号。区名、年 度（和暦）、通し番号（2桁）で 構成する。年度と通し場番号は ハイフンで接続する。存在しな い場合は、NULL とする。 （例）緑区、平成 22 年度、通 し番号 1 の場合 入力値：緑 22-01 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		緑 22-01
境界調査簿冊番号	定義 道水路等境界調査の簿冊番号。 区名、冊番、号番で構成する。 存在しない場合は、NULL とす る。 （例）緑区、1 冊、1 号の場合 入力値：緑区 1 冊 1 号 定義域 地物が持ちえる名称とする。	STR		緑区 1 冊 1 号
境界調査決裁日	定義 道水路等境界調査の決裁年月 日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
図面番号	定義 道路台帳区域線図 1 図葉の図郭 番号。 大メッシュ番号と小メッシュ 番号で構成する。 （例）大メッシュ番号：10、小 メッシュ番号：40 の場合 入力値：10-40 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		10-40

道路境界標番号	<p>定義 折れ点を識別するための番号。 番号は先頭0詰め7桁とする。 (例) 番号 99 の場合 入力値 : 0000099</p> <p>定義域 地物が持ちえる名称とする。</p>	STR		0000099
入力年度	<p>横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年度。年度は和暦で記述する。 (例) 昭和 63 年度の場合 入力値 : 昭和 63 年度 (年度の値は半角数字とする)</p> <p>定義域 地物が持ちえる年度とする。</p>	STR		昭和 63 年度
新図郭	<p>道路台帳区域線図 1 図葉の新図郭番号。 大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号 : 10、小メッシュ番号 : 40 の場合 入力値 : 10-40</p> <p>定義域 地物が持ちえる値とする。</p>	STR		10-40

(10) 図上点(任意座標)

1. 地物定義 道路法による道路の区域とその他の区域の境界線の折れ点のうち、公共測量座標を有さない任意座標のもの。道路境界標は設置されていない。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW-NINIZAHYOU
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW-NINIZAHYOU001
3. 図形種類 点データ（点マーカ） ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
取得基準:
5. 作図方法 図上点の座標値を取得する。GM_Point の座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。
6. 図形名称 図上点（任意座標）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
X 座標	定義 道路境界標の測量成果の X 座標。 定義域 地理範囲で示された範囲内であること。	RNN		1000.000
Y 座標	定義 道路境界標の測量成果の Y 座標。 定義域 地理範囲で示された範囲内であること。	RNN		1000.000
事業種別	定義	INN		2

	<p>道路境界標が設置された事業の種別。 定義域 下のコード表より値を選択する。</p> <table border="1" data-bbox="448 365 802 633"><thead><tr><th>事業種別</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>現況補正</td><td>1</td></tr><tr><td>境界調査</td><td>2</td></tr><tr><td>道路移管</td><td>3</td></tr><tr><td>国土調査</td><td>4</td></tr><tr><td>14条地区</td><td>5</td></tr><tr><td>誤表示</td><td>6</td></tr><tr><td>その他</td><td>99</td></tr></tbody></table>	事業種別	値	現況補正	1	境界調査	2	道路移管	3	国土調査	4	14条地区	5	誤表示	6	その他	99			
事業種別	値																			
現況補正	1																			
境界調査	2																			
道路移管	3																			
国土調査	4																			
14条地区	5																			
誤表示	6																			
その他	99																			

管理者	<p>定義 道路境界標の管理者。</p> <p>定義域 下のコード表より値を選択する。管理者不明の場合は、NULLとする</p> <table border="1" data-bbox="448 398 759 1825"> <thead> <tr> <th>管理者</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>横浜市</td><td>1</td></tr> <tr><td>横浜市道路</td><td>2</td></tr> <tr><td>横浜市河川</td><td>3</td></tr> <tr><td>横浜市公園</td><td>4</td></tr> <tr><td>横浜市下水</td><td>5</td></tr> <tr><td>横浜市水道</td><td>6</td></tr> <tr><td>横浜市交通</td><td>7</td></tr> <tr><td>横浜市建築</td><td>8</td></tr> <tr><td>横浜市学校</td><td>9</td></tr> <tr><td>国土交通省</td><td>10</td></tr> <tr><td>厚生労働省</td><td>11</td></tr> <tr><td>総務省</td><td>12</td></tr> <tr><td>防衛省</td><td>13</td></tr> <tr><td>神奈川県</td><td>14</td></tr> <tr><td>町田市</td><td>15</td></tr> <tr><td>川崎市</td><td>16</td></tr> <tr><td>鎌倉市</td><td>17</td></tr> <tr><td>逗子市</td><td>18</td></tr> <tr><td>藤沢市</td><td>19</td></tr> <tr><td>大和市</td><td>20</td></tr> <tr><td>横須賀市</td><td>21</td></tr> <tr><td>東京電力</td><td>22</td></tr> <tr><td>東京ガス</td><td>23</td></tr> <tr><td>日本電信電話 (NTT)</td><td>24</td></tr> <tr><td>JR (JR東日本、JR 東海、国鉄)</td><td>25</td></tr> <tr><td>相模鉄道</td><td>26</td></tr> <tr><td>東京急行</td><td>27</td></tr> <tr><td>京浜急行</td><td>28</td></tr> <tr><td>日本道路公団</td><td>29</td></tr> <tr><td>東日本高速道路</td><td>30</td></tr> <tr><td>中日本高速道路</td><td>31</td></tr> <tr><td>首都高速道路</td><td>32</td></tr> <tr><td>独立行政法人都市 再生機構</td><td>33</td></tr> <tr><td>市住宅供給公社</td><td>34</td></tr> <tr><td>県住宅供給公社</td><td>35</td></tr> <tr><td>区画整理等</td><td>36</td></tr> <tr><td>行政界</td><td>37</td></tr> <tr><td>国土調査</td><td>38</td></tr> <tr><td>民間</td><td>99</td></tr> </tbody> </table>	管理者	値	横浜市	1	横浜市道路	2	横浜市河川	3	横浜市公園	4	横浜市下水	5	横浜市水道	6	横浜市交通	7	横浜市建築	8	横浜市学校	9	国土交通省	10	厚生労働省	11	総務省	12	防衛省	13	神奈川県	14	町田市	15	川崎市	16	鎌倉市	17	逗子市	18	藤沢市	19	大和市	20	横須賀市	21	東京電力	22	東京ガス	23	日本電信電話 (NTT)	24	JR (JR東日本、JR 東海、国鉄)	25	相模鉄道	26	東京急行	27	京浜急行	28	日本道路公団	29	東日本高速道路	30	中日本高速道路	31	首都高速道路	32	独立行政法人都市 再生機構	33	市住宅供給公社	34	県住宅供給公社	35	区画整理等	36	行政界	37	国土調査	38	民間	99	INN		1
管理者	値																																																																																			
横浜市	1																																																																																			
横浜市道路	2																																																																																			
横浜市河川	3																																																																																			
横浜市公園	4																																																																																			
横浜市下水	5																																																																																			
横浜市水道	6																																																																																			
横浜市交通	7																																																																																			
横浜市建築	8																																																																																			
横浜市学校	9																																																																																			
国土交通省	10																																																																																			
厚生労働省	11																																																																																			
総務省	12																																																																																			
防衛省	13																																																																																			
神奈川県	14																																																																																			
町田市	15																																																																																			
川崎市	16																																																																																			
鎌倉市	17																																																																																			
逗子市	18																																																																																			
藤沢市	19																																																																																			
大和市	20																																																																																			
横須賀市	21																																																																																			
東京電力	22																																																																																			
東京ガス	23																																																																																			
日本電信電話 (NTT)	24																																																																																			
JR (JR東日本、JR 東海、国鉄)	25																																																																																			
相模鉄道	26																																																																																			
東京急行	27																																																																																			
京浜急行	28																																																																																			
日本道路公団	29																																																																																			
東日本高速道路	30																																																																																			
中日本高速道路	31																																																																																			
首都高速道路	32																																																																																			
独立行政法人都市 再生機構	33																																																																																			
市住宅供給公社	34																																																																																			
県住宅供給公社	35																																																																																			
区画整理等	36																																																																																			
行政界	37																																																																																			
国土調査	38																																																																																			
民間	99																																																																																			

告示日	定義 道路境界の告示年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
完了月日	定義 横浜市道路局道路調査課の決 裁が終了した入力年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
補正番号	定義 道路境界の補正番号。区名、年 度（和暦）、通し番号（2桁）で 構成する。年度と通し場番号は ハイフンで接続する。存在しな い場合は、NULL とする。 （例）緑区、平成 22 年度、通 し番号 1 の場合 入力値：緑 22-01 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		緑 22-01
境界調査簿冊番号	定義 道水路等境界調査の簿冊番号。 区名、冊番、号番で構成する。 存在しない場合は、NULL とす る。 （例）緑区、1 冊、1 号の場合 入力値：緑区 1 冊 1 号 定義域 地物が持ちえる名称とする。	STR		緑区 1 冊 1 号
境界調査決裁日	定義 道水路等境界調査の決裁年月 日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
図面番号	定義 道路台帳区域線図 1 図葉の番 号。大メッシュ番号と小メッ シュ番号で構成する。 （例）大メッシュ番号：10、小 メッシュ番号：40 の場合 入力値：10-40 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		10-40

点番号	定義 折れ点を識別するための番号。 番号は先頭0 詰め7桁とし、頭にNを付与する。 (例) 番号99の場合 入力値：N0000099 定義域 地物が持ちえる値とする。なお、クラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。	STR		N0000099
-----	---	-----	--	----------

(11) 道路境界標番号

1. 地物定義 道路境界標または図上点を識別するための番号を表す文字列。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-TXT-DOUROKYOUKAIHYOUBANGOU
作業機関が作成するデータ S-BMK-TXT-DOUROKYOUKAIHYOUBANGOU01
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
道路境界標番号の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
なお、表示する文字列の高さは縮尺1/500で表示した状態で、図上1.5mmとする。
6. 図形名称 道路境界標番号001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
図面番号	定義 道路台帳区域線図 1 図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：010、 小メッシュ番号：40 の場合 入力値：01040 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		01040

(12) 道路境界標番号(拡大)

1. 地物定義 道路境界標または図上点を識別するための番号を表す文字列。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-TXT-DOUROKYOUKAIHYOUBANGOU
KAKUDAI
作業機関が作成するデータ S-BMK-TXT-DOUROKYOUKAIHYOUBANGOU
KAKUDAI001
3. 図形種類 文字データ (文字要素)
4. 色 任意
取得基準:
5. 作図方法 道路境界標番号の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。
なお、表示する文字列の高さは縮尺1/200で表示した状態で、図上1.5mmとする。
6. 図形名称 道路境界標番号 (拡大) 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
図面番号	定義 道路台帳区域線図 1 図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：010、 小メッシュ番号：40 の場合 入力値：01040 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		01040

(13) 道路境界標間距離表示線

1. 地物定義 2つの道路境界標を結ぶ直線。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-DOUROKYOUKAIHYOUKANKYORI
HYOUJISEN
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-DOUROKYOUKAIHYOUKANKYORI
HYOUJISEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準:
5. 作図方法 2つの道路境界標または図上点を結ぶ直線を取得する。GM_Curveの始点および終点の座標は、道路境界標または図上点の座標と一致しなければならない。また、道路境界標間距離表示線に中間点は存在してはならない。
6. 図形名称 道路境界標間距離表示線 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
長さ	定義 両端の道路境界標または図上 点の座標値から算出した道路 境界標間距離表示線の長さ。単 位はメートルとし、小数第4位 を切り捨て小数第3位を四捨五 入した小数第2位までの値とす る。 定義域 地物が持ちえる長さとする。	LEN		31.05

線番号	<p>定義 道路境界標間距離表示線と道路境界標間距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。</p> <p>(例) 010-40 の図郭にある道路境界標番号 99 と 010-41 の図郭にある 100 を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 010400000099010410000100</p> <p>定義域 地物が持ちえる値とする。なお、クラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。</p>	STR		010400000 099010410 000100
-----	---	-----	--	----------------------------------

(14) 道路境界標間距離

1. 地物定義 道路境界標間距離を表す文字列。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-DOUROKYOUKAIHYOUKANKYORI
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-DOUROKYOUKAIHYOUKANKYORI
001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 道路境界標間距離を表す文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 1.5 mm とする。
6. 図形名称 道路境界標間距離001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

線番号	<p>定義 道路境界標間距離表示線と道路境界標間距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。</p> <p>(例) 010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 010400000099010410000100</p> <p>定義域 地物が持ちえる値とする。なおクラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。</p>	STR		010400000 099010410 000100
-----	---	-----	--	----------------------------------

(15) 道路境界標間距離(拡大)

1. 地物定義 道路境界標間距離を表す文字列。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-DOUROKYOUKAIHYOUKANKYORI
KAKUDAI
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-DOUROKYOUKAIHYOUKANKYORI
KAKUDAI001
3. 図形種類 文字データ (文字要素)
4. 色 任意
取得基準:
5. 作図方法 道路境界標間距離を表す文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺 1/200 で表示した状態で、図上 1.5 mm とする。
6. 図形名称 道路境界標間距離 (拡大) 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

線番号	<p>定義 道路境界標間距離表示線と道路境界標間距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。</p> <p>(例) 010-40 の図郭にある道路境界標番号 99 と 010-41 の図郭にある 100 を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 010400000099010410000100</p> <p>定義域 地物が持ちえる値とする。なおクラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。</p>	STR		010400000 099010410 000100
-----	--	-----	--	----------------------------------

(16) 引出線

1. 地物定義 区域線距離、道路境界標間距離、道路境界標番号、注記等を偏心させて表示する場合に用いる引出線。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-HIKIDASHISEN
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-HIKIDASHISEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 引出線の位置を取得する。
6. 図形名称 引出線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
線番号	定義 引出線と道路区域線もしくは道路境界標間距離表示線とを関連させるための番号。インスタンスと関連する道路区域線もしくは道路境界標間距離表示線の属性「線番号」の値とする。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の 24byte で構成する。 (例) 010-40 の図郭にある道路境界標番号 99 と 010-41 の図郭にある 100 を結ぶ道路区域線の場合 入力値：	STR		010400000 099010410 000100

	010400000099010410000100 道路境界標番号の場合は NULL とする。 定義域 地物が持ちえる値とする。			
道路境界標番号	定義 引出線と道路境界標もしくは 図上点、注記等とを関連させる ための番号。インスタンスと関 連する道路境界標もしくは図 上点の属性「道路境界標番号」 の値とする。注記の場合は NULL とする。 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		G0000131
図面番号	定義 道路台帳区域線図 1 図葉の番 号。大メッシュ番号と小メッシ ュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：010、 小メッシュ番号：40 の場合 入力値：01040 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		01040

(17) 引出線(拡大)

1. 地物定義 区域線距離、道路境界標間距離、道路境界標番号、注記等を偏心させて表示する場合に用いる引出線。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM- HIKIDASHISENKAKUDAI
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM- HIKIDASHISENKAKUDAI001
3. 図形種類 線データ (線分、折線)
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準:
引出線の位置を取得する。
6. 図形名称 引出線 (拡大) 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
線番号	定義 引出線と道路区域線もしくは道路境界標間距離表示線とを関連させるための番号。インスタンスと関連する道路区域線もしくは道路境界標間距離表示線の属性「線番号」の値とする。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の 24byte で構成する。 (例) 010-40 の図郭にある道路境界標番号 99 と 010-41 の図郭にある 100 を結ぶ道路区域線の場合 入力値 :	STR		010400000 099010410 000100

	010400000099010410000100 道路境界標番号の場合は NULL とする。 定義域 地物が持ちえる値とする。なおクラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。			
道路境界標番号	定義 引出線と道路境界標もしくは図上点、注記等とを関連させるための番号。インスタンスと関連する道路境界標もしくは図上点の属性「道路境界標番号」の値とする。注記の場合は NULL とする。 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		G0000131
図面番号	定義 道路台帳区域線図 1 図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：010、小メッシュ番号：40 の場合 入力値：01040 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		01040

(18) 道路・水路界

1. 地物定義 道路と水路の境界を表す線分。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW-DOUROSUIROKAI
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW-DOUROSUIROKAI001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 道路台帳区域線図に描画されている道路と水路の境界を取得する。
6. 図形名称 道路・水路界001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

線番号	<p>定義 引出線と道路区域線もしくは道路境界標間距離表示線とを関連させるための番号。インスタンスと関連する道路区域線もしくは道路境界標間距離表示線の属性「線番号」の値とする。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の 24byte で構成する。</p> <p>(例) 010-40 の図郭にある道路境界標番号 99 と 010-41 の図郭にある 100 を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 010400000099010410000100 道路境界標番号の場合は NULL とする。</p> <p>定義域 地物が持ちえる値とする。なおクラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。</p>	STR		010400000 099010410 000100
道路境界標番号	<p>定義 引出線と道路境界標もしくは図上点、注記等とを関連させるための番号。インスタンスと関連する道路境界標もしくは図上点の属性「道路境界標番号」の値とする。注記の場合は NULL とする。</p> <p>定義域 地物が持ちえる値とする。</p>	STR		G0000131
図面番号	<p>定義 道路台帳区域線図 1 図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。</p> <p>(例) 大メッシュ番号：010、小メッシュ番号：40 の場合 入力値：01040</p> <p>定義域 地物が持ちえる日付とする。</p>	STR		01040

(19) 道路・青地界

1. 地物定義 道路と青地の境界を表す線分。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW-DOUROAOCHIKAI
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW-DOUROAOCHIKAI001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 道路台帳区域線図に描画されている道路と青地の境界を取得する。
6. 図形名称 道路・青地界001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(20) 水路・青地界

1. 地物定義 水路と青地の境界を表す線分。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW-SUIROAOCHIKAI
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW-SUIROAOCHIKAI001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 道路台帳区域線図に描画されている水路と青地の境界を取得する。
6. 図形名称 水路・青地界001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(21) 道路・水道用地界

1. 地物定義 道路と水道用地の境界を表す線分。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW- DOUROSUIDOUKAI
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW- DOUROSUIDOUKAI001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 道路台帳区域線図に描画されている道路と水道用地の境界を取得する。
6. 図形名称 道路・水道用地界001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(22) 道路内民地界

1. 地物定義 道路内にある、道路と民地の境界を表す線分。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW- DOURONAIMINCHIKAI
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW- DOURONAIMINCHIKAI001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 道路台帳区域線図に描画されている道路内にある、道路と民地の境界を取得する。
6. 図形名称 道路内民地界001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(23) 重複管理区域界

1. 地物定義 道路内にある、重複管理区域の境界を表す線分のうち、境界標、及び距離数値の記載がない線分。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW- CHOUFUKUKANRIKUIKIKAI
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW- CHOUFUKUKANRIKUIKIKAI001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 道路台帳区域線図に描画されている道路内にある、重複管理区域の境界を表す線分のうち、境界標、及び距離数値の記載がない境界を取得する。
6. 図形名称 重複管理区域界001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(25) 都府県名

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうちの都府県名。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-TOFUKENMEI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-TOFUKENMEI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 9mmとする。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 都府県名 001

7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(26) 市名

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうちの市名。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-SHIMEI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-SHIMEI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 9 mm とする。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 市名001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(27) 区名

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうちの区名。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-KUMEI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-KUMEI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 9mmとする。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 区名001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(28) 町丁目名

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうちの町丁目名。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-CHOUCHOUMOKUMEI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-CHOUCHOUMOKUMEI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 9 mmとする。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 町丁目名001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(29) 地番

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうちの地番。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-CHIBAN
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-CHIBAN001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 2mm とする。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 地番001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(30) 道路表記

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうちの道路区域であることの表記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-DOUROHYOUKI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-DOUROHYOUKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3mmとする。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 道路表記001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(31) 水路表記

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうちの水路区域であることの表記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-SUIROHYOUKI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-SUIROHYOUKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3mmとする。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 水路表記001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(32) 青地表記

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうちの青地区域であることの表記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-AOCHIHYOUKI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-AOCHIHYOUKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3mmとする。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 青地表記001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(33) 施設表記

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうちの施設であることの表記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-SHISETSUHYOUKI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-SHISETSUHYOUKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3mm とする。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 施設表記 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(34) 道路の路線名

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうちの道路の路線名称であることの表記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-DOURORROSENMEI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-DOURORROSENMEI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mmとする。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 道路の路線名001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(35) 鉄道の路線名

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうちの鉄道の路線名称であることの表記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-TETSUDOUROSENMEI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-TETSUDOUROSENMEI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3mmとする。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 鉄道の路線名001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(36) 河川表記

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうちの河川名称であることの表記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-KASENHYOUKI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-KASENHYOUKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3mmとする。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 河川表記001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(37) 橋梁表記

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうちの橋梁名称であることの表記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-KYOURYOUHYOUKI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-KYOURYOUHYOUKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3mmとする。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 橋梁表記001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(38) 重複管理区域

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうちの重複管理区域であることの表記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-CHOUFUKUKANRIKUIKI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-CHOUFUKUKANRIKUIKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3mmとする。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 重複管理区域001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(39) 水道用地表記

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうちの水道用地であることの表記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT- SUIDOUHYOUKI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT- SUIDOUHYOUKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mm とする。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 水道用地表記001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(40) 上空占有区域

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうちの上空占有区域であることの表記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-ZYOUKUUSENYOUKUIKI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-ZYOUKUUSENYOUKUIKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mm とする。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 上空占有区域001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(41) その他表記

1. 地物定義 道路台帳区域線図に表示する注記のうち、挙げられていないその他の表記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-SONOTAHYOUKI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-SONOTAHYOUKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする
6. 図形名称 その他表記001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(42) 区域線図別図注記

1. 地物定義 道路法による道路の区域とその他の区域の境界の内、別図の存在する範囲に関する注記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-KUIKISENZUBETSUZUCHUUKI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-KUIKISENZUBETSUZUCHUUKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mmとする
6. 図形名称 区域線図別図注記001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(43) 非公開別図注記

1. 地物定義 非公開となる別図の存在する範囲に関する注記。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-TXT-HIKOUKAIBETSUZUCHUUKI
作業機関が作成するデータ S-STR-TXT-HIKOUKAIBETSUZUCHUUKI001
3. 図形種類 文字データ（文字要素）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mm とする
6. 図形名称 非公開別図注記001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

(44) 区域線図別図範囲

1. 地物定義 道路法による道路の区域とその他の区域の境界の内、別図の存在する範囲。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW-KUIKISENZUBETSUZUHANI
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW-KUIKISENZUBETSUZUHANI001
3. 図形種類 面データ (ハッチング)
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準:
道路の区域の境界の別図の存在する範囲を取得する。
6. 図形名称 区域線図別図範囲001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最 初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最 後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
補正番号	定義 道路境界の補正番号。区名、年 度 (和暦)、通し番号 (2桁) で 構成する。年度と通し場番号は ハイフンで接続する。存在しな い場合は、NULL とする。 (例) 緑区、平成 22 年度、通 し番号 1 の場合 入力値 : 緑 22-01 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		緑 22-01

告示区分	定義 道路区域線が決定された告示区分の種別。	INN		1																				
	定義域 下のコード表より値を選択する。																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>告示区分</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新設道路（横浜市）</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>道路敷</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>廃止道路</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>水路敷</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>新設道路（国道）</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>水路の所管替</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>廃止水路</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>青地</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>誤表示</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>				告示区分	値	新設道路（横浜市）	1	道路敷	2	廃止道路	3	水路敷	4	新設道路（国道）	5	水路の所管替	6	廃止水路	7	青地	8	誤表示	9
	告示区分				値																			
	新設道路（横浜市）				1																			
	道路敷				2																			
	廃止道路				3																			
	水路敷				4																			
	新設道路（国道）				5																			
	水路の所管替				6																			
廃止水路	7																							
青地	8																							
誤表示	9																							

(45) 非公開別図範囲

1. 地物定義 非公開となる別図の存在する範囲。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW-HIKOUKAIBETSUZUHANI
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW-HIKOUKAIBETSUZUHANI001
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
非公開となる別図の範囲を取得する。
6. 図形名称 非公開別図範囲001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
補正番号	定義 道路境界の補正番号。区名、年度（和暦）、通し番号（2桁）で構成する。年度と通し場番号はハイフンで接続する。存在しない場合は、NULL とする。 （例）緑区、平成 22 年度、通し番号 1 の場合 入力値：緑 22-01 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		緑 22-01

告示区分	定義 道路区域線が決定された告示区分の種別。 定義域 下のコード表より値を選択する。	INN		1	
	告示区分				値
	新設道路（横浜市）				1
	道路敷				2
	廃止道路				3
	水路敷				4
	新設道路（国道）				5
	水路の所管替				6
	廃止水路				7
	青地				8
	誤表示				9

(46) 旧図郭(大図郭)

1. 地物定義 道路台帳区域線図の世界測地系への移行前に、日本測地系で作成されていた図郭（大図郭）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-TTL-TTL-KYUZUKAKU_L
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
1 図葉の範囲を取得する。
6. 図形名称 旧図郭（大図郭）001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
図郭番号	定義 道路台帳区域線図 1 図葉の番号。大メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：010 の場合 入力値：010 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		010

(47) 旧図郭(小図郭)

1. 地物定義 道路台帳区域線図の世界測地系への移行前に、日本測地系で作成されていた図郭（小図郭）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-TTL-TTL-KYUZUKAKU_S
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
1 図葉の範囲を取得する。
6. 図形名称 旧図郭（小図郭） 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
図郭番号	定義 道路台帳区域線図 1 図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：010、 小メッシュ番号：40 の場合 入力値：01040 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		01040

(48) 新図郭(大図郭)

1. 地物定義 道路台帳区域線図の世界測地系への移行後に、切り直した図郭（大図郭）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-TTL-TTL-SHINZUKAKU_L
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
1 図葉の範囲を取得する。
6. 図形名称 新図郭（大図郭） 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
図郭番号	定義 道路台帳区域線図 1 図葉の番号。大メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：010 の 場合 入力値：010 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		010

(49) 新図郭(小図郭)

1. 地物定義 道路台帳区域線図の世界測地系への移行後に、切り直した図郭（小図郭）。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-TTL-TTL-SHINZUKAKU_S
3. 図形種類 面データ（ハッチング）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
1 図葉の範囲を取得する。
6. 図形名称 新図郭（小図郭） 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
図郭番号	定義 道路台帳区域線図 1 図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：010、 小メッシュ番号：40 の場合 入力値：01040 定義域 地物が持ちえる内容とする。	STR		01040

(50) 滅失道路区域線

1. 地物定義 滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界線。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW-MESSHITSUDOUROKUIKISEN
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW-MESSHITSUDOUROKUIKISEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準：
道路の区域の境界を直線で取得する。GM_Curve の始点および終点の座標の値は、道路境界標または図上点の座標の値と一致しなければならない。また、道路区域線に中間点は存在してはならない。
6. 図形名称 滅失道路区域線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
長さ	定義 滅失時に区域線距離の属性「表示文字」で示されている長さ。 単位はメートルとし、小数第2 位までの値とする。 定義域 地物が持ちえる長さとする。	LEN	m	30.15

線番号	<p>定義 道路区域線と区域線距離とを関連させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。 (例) 010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 010400000099010410000100 定義域 地物が持ちえる値とする。なお、クラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。</p>	STR		010400000 099010410 000100																				
告示区分	<p>定義 道路区域線が決定された告示区分の種別。 定義域 下のコード表より値を選択する。</p> <table border="1" data-bbox="448 994 783 1328"> <thead> <tr> <th>告示区分</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新設道路（横浜市）</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>道路敷</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>廃止道路</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>水路敷</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>新設道路（国道）</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>水路の所管替</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>廃止水路</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>青地</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>誤表示</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	告示区分	値	新設道路（横浜市）	1	道路敷	2	廃止道路	3	水路敷	4	新設道路（国道）	5	水路の所管替	6	廃止水路	7	青地	8	誤表示	9	INN		2
告示区分	値																							
新設道路（横浜市）	1																							
道路敷	2																							
廃止道路	3																							
水路敷	4																							
新設道路（国道）	5																							
水路の所管替	6																							
廃止水路	7																							
青地	8																							
誤表示	9																							

(51) 滅失道路境界標(公共座標)

1. 地物定義 滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界を示す標識のうち、公共測量成果を有するもの。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-MESSHITSUKOUKYOUZAHYOU
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-MESSHITSUKOUKYOUZAHYOU001
3. 図形種類 点データ (点マーカ) ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準:
図上点の座標値を取得する。GM_Point の座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。
6. 図形名称 滅失道路境界標 (公共座標) 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
X 座標	定義 道路境界標の測量成果の X 座標。 定義域 地理範囲で示された範囲内であること。	RNN		1000.00
Y 座標	定義 道路境界標の測量成果の Y 座標。 定義域 地理範囲で示された範囲内であること。	RNN		1000.00

事業種別	<p>定義 道路境界標の滅失を行った事業の種別。 定義域 下のコード表より値を選択する</p> <table border="1" data-bbox="448 450 802 714"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現況補正</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>境界調査</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>道路移管</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>国土調査</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>14条地区</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>誤表示</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table>	事業種別	値	現況補正	1	境界調査	2	道路移管	3	国土調査	4	14条地区	5	誤表示	6	その他	99	INN		2		
事業種別	値																					
現況補正	1																					
境界調査	2																					
道路移管	3																					
国土調査	4																					
14条地区	5																					
誤表示	6																					
その他	99																					
杭種	<p>定義 道路境界標の種別。 定義域 下のコード表より値を選択する</p> <table border="1" data-bbox="448 925 802 1225"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>鋳物</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>プレート</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>鋳</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>刻</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>プラスチック杭</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>印・ペンキ</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table>	事業種別	値	石	1	鋳物	2	プレート	3	鋳	4	刻	5	プラスチック杭	6	印・ペンキ	7	その他	99	INN		1
事業種別	値																					
石	1																					
鋳物	2																					
プレート	3																					
鋳	4																					
刻	5																					
プラスチック杭	6																					
印・ペンキ	7																					
その他	99																					

管理者	<p>定義 道路境界標の管理者。</p> <p>定義域 下のコード表より値を選択する。管理者不明の場合は、NULLとする。</p> <table border="1" data-bbox="448 405 778 1827"> <thead> <tr> <th>管理者</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>横浜市</td><td>1</td></tr> <tr><td>横浜市道路</td><td>2</td></tr> <tr><td>横浜市河川</td><td>3</td></tr> <tr><td>横浜市公園</td><td>4</td></tr> <tr><td>横浜市下水</td><td>5</td></tr> <tr><td>横浜市水道</td><td>6</td></tr> <tr><td>横浜市交通</td><td>7</td></tr> <tr><td>横浜市建築</td><td>8</td></tr> <tr><td>横浜市学校</td><td>9</td></tr> <tr><td>国土交通省</td><td>10</td></tr> <tr><td>厚生労働省</td><td>11</td></tr> <tr><td>総務省</td><td>12</td></tr> <tr><td>防衛省</td><td>13</td></tr> <tr><td>神奈川県</td><td>14</td></tr> <tr><td>町田市</td><td>15</td></tr> <tr><td>川崎市</td><td>16</td></tr> <tr><td>鎌倉市</td><td>17</td></tr> <tr><td>逗子市</td><td>18</td></tr> <tr><td>藤沢市</td><td>19</td></tr> <tr><td>大和市</td><td>20</td></tr> <tr><td>横須賀市</td><td>21</td></tr> <tr><td>東京電力</td><td>22</td></tr> <tr><td>東京ガス</td><td>23</td></tr> <tr><td>日本電信電話(NTT)</td><td>24</td></tr> <tr><td>JR (JR東日本、JR東海、国鉄)</td><td>25</td></tr> <tr><td>相模鉄道</td><td>26</td></tr> <tr><td>東京急行</td><td>27</td></tr> <tr><td>京浜急行</td><td>28</td></tr> <tr><td>日本道路公団</td><td>29</td></tr> <tr><td>東日本高速道路</td><td>30</td></tr> <tr><td>中日本高速道路</td><td>31</td></tr> <tr><td>首都高速道路</td><td>32</td></tr> <tr><td>独立行政法人都市再生機構</td><td>33</td></tr> <tr><td>市住宅供給公社</td><td>34</td></tr> <tr><td>県住宅供給公社</td><td>35</td></tr> <tr><td>区画整理等</td><td>36</td></tr> <tr><td>行政界</td><td>37</td></tr> <tr><td>国土調査</td><td>38</td></tr> <tr><td>民間</td><td>99</td></tr> </tbody> </table>	管理者	値	横浜市	1	横浜市道路	2	横浜市河川	3	横浜市公園	4	横浜市下水	5	横浜市水道	6	横浜市交通	7	横浜市建築	8	横浜市学校	9	国土交通省	10	厚生労働省	11	総務省	12	防衛省	13	神奈川県	14	町田市	15	川崎市	16	鎌倉市	17	逗子市	18	藤沢市	19	大和市	20	横須賀市	21	東京電力	22	東京ガス	23	日本電信電話(NTT)	24	JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25	相模鉄道	26	東京急行	27	京浜急行	28	日本道路公団	29	東日本高速道路	30	中日本高速道路	31	首都高速道路	32	独立行政法人都市再生機構	33	市住宅供給公社	34	県住宅供給公社	35	区画整理等	36	行政界	37	国土調査	38	民間	99	INN		1
管理者	値																																																																																			
横浜市	1																																																																																			
横浜市道路	2																																																																																			
横浜市河川	3																																																																																			
横浜市公園	4																																																																																			
横浜市下水	5																																																																																			
横浜市水道	6																																																																																			
横浜市交通	7																																																																																			
横浜市建築	8																																																																																			
横浜市学校	9																																																																																			
国土交通省	10																																																																																			
厚生労働省	11																																																																																			
総務省	12																																																																																			
防衛省	13																																																																																			
神奈川県	14																																																																																			
町田市	15																																																																																			
川崎市	16																																																																																			
鎌倉市	17																																																																																			
逗子市	18																																																																																			
藤沢市	19																																																																																			
大和市	20																																																																																			
横須賀市	21																																																																																			
東京電力	22																																																																																			
東京ガス	23																																																																																			
日本電信電話(NTT)	24																																																																																			
JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25																																																																																			
相模鉄道	26																																																																																			
東京急行	27																																																																																			
京浜急行	28																																																																																			
日本道路公団	29																																																																																			
東日本高速道路	30																																																																																			
中日本高速道路	31																																																																																			
首都高速道路	32																																																																																			
独立行政法人都市再生機構	33																																																																																			
市住宅供給公社	34																																																																																			
県住宅供給公社	35																																																																																			
区画整理等	36																																																																																			
行政界	37																																																																																			
国土調査	38																																																																																			
民間	99																																																																																			

告示日	定義 道路境界の告示年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
完了月日	定義 横浜市道路局道路調査課の決 裁が終了した入力年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
補正番号	定義 道路境界の補正番号。区名、年 度（和暦）、通し番号（2桁）で 構成する。年度と通し場番号は ハイフンで接続する。存在しな い場合は、NULL とする。 （例）緑区、平成 22 年度、通 し番号 1 の場合 入力値：緑 22-01 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		緑 22-01
境界調査簿冊番号	定義 道水路等境界調査の簿冊番号。 区名、冊番、号番で構成する。 存在しない場合は、NULL とす る。 （例）緑区、1冊、1号の場合 入力値：緑区 1冊 1号 定義域 地物が持ちえる名称とする。	STR		緑区 1冊 1 号
境界調査決裁日	定義 道水路等境界調査の決裁年月 日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

図面番号	<p>定義 道路台帳区域線図1図葉の図郭番号。 大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号:10、小メッシュ番号:40の場合 入力値:10-40 定義域 地物が持ちえる値とする。</p>	STR		10-40
道路境界標番号	<p>定義 道路境界標を識別するための番号。番号は先頭0詰め7桁とする。 (例) 番号99の場合 入力値:0000099 定義域 地物が持ちえる名称とする。</p>	STR		0000099
入力年度	<p>横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年度。年度は和暦で記述する。 (例) 昭和63年度の場合 入力値:昭和63年度 (年度の値は半角数字とする) 定義域 地物が持ちえる年度とする。</p>	STR		昭和63年度
新図郭	<p>道路台帳区域線図1図葉の新図郭番号。 大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号:10、小メッシュ番号:40の場合 入力値:10-40 定義域 地物が持ちえる値とする。</p>	STR		10-40

(52) 滅失道路境界標(任意座標)

1. 地物定義 滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界を示す標識のうち、公共測量成果を有さない任意座標のもの。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-STRP-MESSHITSUNINIZAHYOU
作業機関が作成するデータ S-STR-STRP-MESSHITSUNINIZAHYOU001
3. 図形種類 点データ (点マーカ) ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準:
道路境界の座標値を取得する。GM_Point の座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。
6. 図形名称 滅失道路境界標 (任意座標) 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
X 座標	定義 道路境界標の測量成果の X 座標。 定義域 地理範囲で示された範囲内であること。	RNN		1000.00
Y 座標	定義 道路境界標の測量成果の Y 座標。 定義域 地理範囲で示された範囲内であること。	RNN		1000.00

事業種別	<p>定義 道路境界標の滅失を行った事業の種別。 定義域 下のコード表より値を選択する。</p> <table border="1" data-bbox="448 412 802 678"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現況補正</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>境界調査</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>道路移管</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>国土調査</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>14条地区</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>誤表示</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table>	事業種別	値	現況補正	1	境界調査	2	道路移管	3	国土調査	4	14条地区	5	誤表示	6	その他	99	INN		2		
事業種別	値																					
現況補正	1																					
境界調査	2																					
道路移管	3																					
国土調査	4																					
14条地区	5																					
誤表示	6																					
その他	99																					
杭種	<p>定義 道路境界標の種別。 定義域 下のコード表より値を選択する</p> <table border="1" data-bbox="448 882 802 1180"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>鋳物</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>プレート</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>鋳</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>刻</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>プラスチック杭</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>印・ペンキ</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table>	事業種別	値	石	1	鋳物	2	プレート	3	鋳	4	刻	5	プラスチック杭	6	印・ペンキ	7	その他	99	INN		1
事業種別	値																					
石	1																					
鋳物	2																					
プレート	3																					
鋳	4																					
刻	5																					
プラスチック杭	6																					
印・ペンキ	7																					
その他	99																					

管理者	<p>定義 道路境界標の管理者。</p> <p>定義域 下のコード表より値を選択する。管理者不明の場合は、NULLとする。</p> <table border="1" data-bbox="448 405 740 1827"> <thead> <tr> <th>管理者</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>横浜市</td><td>1</td></tr> <tr><td>横浜市道路</td><td>2</td></tr> <tr><td>横浜市河川</td><td>3</td></tr> <tr><td>横浜市公園</td><td>4</td></tr> <tr><td>横浜市下水</td><td>5</td></tr> <tr><td>横浜市水道</td><td>6</td></tr> <tr><td>横浜市交通</td><td>7</td></tr> <tr><td>横浜市建築</td><td>8</td></tr> <tr><td>横浜市学校</td><td>9</td></tr> <tr><td>国土交通省</td><td>10</td></tr> <tr><td>厚生労働省</td><td>11</td></tr> <tr><td>総務省</td><td>12</td></tr> <tr><td>防衛省</td><td>13</td></tr> <tr><td>神奈川県</td><td>14</td></tr> <tr><td>町田市</td><td>15</td></tr> <tr><td>川崎市</td><td>16</td></tr> <tr><td>鎌倉市</td><td>17</td></tr> <tr><td>逗子市</td><td>18</td></tr> <tr><td>藤沢市</td><td>19</td></tr> <tr><td>大和市</td><td>20</td></tr> <tr><td>横須賀市</td><td>21</td></tr> <tr><td>東京電力</td><td>22</td></tr> <tr><td>東京ガス</td><td>23</td></tr> <tr><td>日本電信電話(NTT)</td><td>24</td></tr> <tr><td>JR (JR東日本、JR東海、国鉄)</td><td>25</td></tr> <tr><td>相模鉄道</td><td>26</td></tr> <tr><td>東京急行</td><td>27</td></tr> <tr><td>京浜急行</td><td>28</td></tr> <tr><td>日本道路公団</td><td>29</td></tr> <tr><td>東日本高速道路</td><td>30</td></tr> <tr><td>中日本高速道路</td><td>31</td></tr> <tr><td>首都高速道路</td><td>32</td></tr> <tr><td>独立行政法人都市再生機構</td><td>33</td></tr> <tr><td>市住宅供給公社</td><td>34</td></tr> <tr><td>県住宅供給公社</td><td>35</td></tr> <tr><td>区画整理等</td><td>36</td></tr> <tr><td>行政界</td><td>37</td></tr> <tr><td>国土調査</td><td>38</td></tr> <tr><td>民間</td><td>99</td></tr> </tbody> </table>	管理者	値	横浜市	1	横浜市道路	2	横浜市河川	3	横浜市公園	4	横浜市下水	5	横浜市水道	6	横浜市交通	7	横浜市建築	8	横浜市学校	9	国土交通省	10	厚生労働省	11	総務省	12	防衛省	13	神奈川県	14	町田市	15	川崎市	16	鎌倉市	17	逗子市	18	藤沢市	19	大和市	20	横須賀市	21	東京電力	22	東京ガス	23	日本電信電話(NTT)	24	JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25	相模鉄道	26	東京急行	27	京浜急行	28	日本道路公団	29	東日本高速道路	30	中日本高速道路	31	首都高速道路	32	独立行政法人都市再生機構	33	市住宅供給公社	34	県住宅供給公社	35	区画整理等	36	行政界	37	国土調査	38	民間	99	INN		1
管理者	値																																																																																			
横浜市	1																																																																																			
横浜市道路	2																																																																																			
横浜市河川	3																																																																																			
横浜市公園	4																																																																																			
横浜市下水	5																																																																																			
横浜市水道	6																																																																																			
横浜市交通	7																																																																																			
横浜市建築	8																																																																																			
横浜市学校	9																																																																																			
国土交通省	10																																																																																			
厚生労働省	11																																																																																			
総務省	12																																																																																			
防衛省	13																																																																																			
神奈川県	14																																																																																			
町田市	15																																																																																			
川崎市	16																																																																																			
鎌倉市	17																																																																																			
逗子市	18																																																																																			
藤沢市	19																																																																																			
大和市	20																																																																																			
横須賀市	21																																																																																			
東京電力	22																																																																																			
東京ガス	23																																																																																			
日本電信電話(NTT)	24																																																																																			
JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25																																																																																			
相模鉄道	26																																																																																			
東京急行	27																																																																																			
京浜急行	28																																																																																			
日本道路公団	29																																																																																			
東日本高速道路	30																																																																																			
中日本高速道路	31																																																																																			
首都高速道路	32																																																																																			
独立行政法人都市再生機構	33																																																																																			
市住宅供給公社	34																																																																																			
県住宅供給公社	35																																																																																			
区画整理等	36																																																																																			
行政界	37																																																																																			
国土調査	38																																																																																			
民間	99																																																																																			

告示日	定義 道路境界の告示年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
完了月日	定義 横浜市道路局道路調査課の決 裁が終了した入力年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
補正番号	定義 道路境界の補正番号。区名、年 度（和暦）、通し番号（2桁）で 構成する。年度と通し場番号は ハイフンで接続する。存在しな い場合は、NULL とする。 （例）緑区、平成 22 年度、通 し番号 1 の場合 入力値：緑 22-01 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		緑 22-01
境界調査簿冊番号	定義 道水路等境界調査の簿冊番号。 区名、冊番、号番で構成する。 存在しない場合は、NULL とす る。 （例）緑区、1冊、1号の場合 入力値：緑区 1冊 1号 定義域 地物が持ちえる名称とする。	STR		緑区 1冊 1 号
境界調査決裁日	定義 道水路等境界調査の決裁年月 日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
図面番号	定義 道路台帳区域線図 1 図葉の番 号。大メッシュ番号と小メッ シュ番号で構成する。 （例）大メッシュ番号：10、小 メッシュ番号：40 の場合 入力値：10-40 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		10-40

点番号	定義 道路境界標を識別するための番号。番号は先頭0 詰め7桁とし、頭にNを付与する。 (例) 番号99の場合 入力値：N0000099 定義域 地物が持ちえる値とする。なお、クラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。	STR		N0000099
-----	---	-----	--	----------

(53) 滅失図上点(公共座標)

1. 地物定義 滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界線の折れ点のうち、測量計算により求められたもの。道路境界標は設置されていない。公共測量成果を有する。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW-MESSHITSUKOUKYOUZAHYOU
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW-MESSHITSUKOUKYOUZAHYOU01
3. 図形種類 点データ (点マーカ) ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準:
図上点の座標値を取得する。GM_Point の座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。
6. 図形名称 滅失図上点 (公共座標) 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
X 座標	定義 道路境界標の測量成果の X 座標。 定義域 地理範囲で示された範囲内であること。	RNN		1000.00

Y 座標	定義 道路境界標の測量成果の Y 座標。 定義域 地理範囲で示された範囲内であること。	RNN		1000.00
事業種別	定義 道路境界標の滅失を行った事業の種別。 定義域 下のコード表より値を選択する。	INN		2

事業種別	値
現況補正	1
境界調査	2
道路移管	3
国土調査	4
14条地区	5
誤表示	6
その他	99

管理者	<p>定義 道路境界標の管理者。</p> <p>定義域 下のコード表より値を選択する。管理者不明の場合は、NULLとする。</p> <table border="1" data-bbox="448 416 740 1843"> <thead> <tr> <th>管理者</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>横浜市</td><td>1</td></tr> <tr><td>横浜市道路</td><td>2</td></tr> <tr><td>横浜市河川</td><td>3</td></tr> <tr><td>横浜市公園</td><td>4</td></tr> <tr><td>横浜市下水</td><td>5</td></tr> <tr><td>横浜市水道</td><td>6</td></tr> <tr><td>横浜市交通</td><td>7</td></tr> <tr><td>横浜市建築</td><td>8</td></tr> <tr><td>横浜市学校</td><td>9</td></tr> <tr><td>国土交通省</td><td>10</td></tr> <tr><td>厚生労働省</td><td>11</td></tr> <tr><td>総務省</td><td>12</td></tr> <tr><td>防衛省</td><td>13</td></tr> <tr><td>神奈川県</td><td>14</td></tr> <tr><td>町田市</td><td>15</td></tr> <tr><td>川崎市</td><td>16</td></tr> <tr><td>鎌倉市</td><td>17</td></tr> <tr><td>逗子市</td><td>18</td></tr> <tr><td>藤沢市</td><td>19</td></tr> <tr><td>大和市</td><td>20</td></tr> <tr><td>横須賀市</td><td>21</td></tr> <tr><td>東京電力</td><td>22</td></tr> <tr><td>東京ガス</td><td>23</td></tr> <tr><td>日本電信電話 (NTT)</td><td>24</td></tr> <tr><td>JR (JR東日本、JR東海、国鉄)</td><td>25</td></tr> <tr><td>相模鉄道</td><td>26</td></tr> <tr><td>東京急行</td><td>27</td></tr> <tr><td>京浜急行</td><td>28</td></tr> <tr><td>日本道路公団</td><td>29</td></tr> <tr><td>東日本高速道路</td><td>30</td></tr> <tr><td>中日本高速道路</td><td>31</td></tr> <tr><td>首都高速道路</td><td>32</td></tr> <tr><td>独立行政法人都市再生機構</td><td>33</td></tr> <tr><td>市住宅供給公社</td><td>34</td></tr> <tr><td>県住宅供給公社</td><td>35</td></tr> <tr><td>区画整理等</td><td>36</td></tr> <tr><td>行政界</td><td>37</td></tr> <tr><td>国土調査</td><td>38</td></tr> <tr><td>民間</td><td>99</td></tr> </tbody> </table>	管理者	値	横浜市	1	横浜市道路	2	横浜市河川	3	横浜市公園	4	横浜市下水	5	横浜市水道	6	横浜市交通	7	横浜市建築	8	横浜市学校	9	国土交通省	10	厚生労働省	11	総務省	12	防衛省	13	神奈川県	14	町田市	15	川崎市	16	鎌倉市	17	逗子市	18	藤沢市	19	大和市	20	横須賀市	21	東京電力	22	東京ガス	23	日本電信電話 (NTT)	24	JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25	相模鉄道	26	東京急行	27	京浜急行	28	日本道路公団	29	東日本高速道路	30	中日本高速道路	31	首都高速道路	32	独立行政法人都市再生機構	33	市住宅供給公社	34	県住宅供給公社	35	区画整理等	36	行政界	37	国土調査	38	民間	99	INN		1
管理者	値																																																																																			
横浜市	1																																																																																			
横浜市道路	2																																																																																			
横浜市河川	3																																																																																			
横浜市公園	4																																																																																			
横浜市下水	5																																																																																			
横浜市水道	6																																																																																			
横浜市交通	7																																																																																			
横浜市建築	8																																																																																			
横浜市学校	9																																																																																			
国土交通省	10																																																																																			
厚生労働省	11																																																																																			
総務省	12																																																																																			
防衛省	13																																																																																			
神奈川県	14																																																																																			
町田市	15																																																																																			
川崎市	16																																																																																			
鎌倉市	17																																																																																			
逗子市	18																																																																																			
藤沢市	19																																																																																			
大和市	20																																																																																			
横須賀市	21																																																																																			
東京電力	22																																																																																			
東京ガス	23																																																																																			
日本電信電話 (NTT)	24																																																																																			
JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25																																																																																			
相模鉄道	26																																																																																			
東京急行	27																																																																																			
京浜急行	28																																																																																			
日本道路公団	29																																																																																			
東日本高速道路	30																																																																																			
中日本高速道路	31																																																																																			
首都高速道路	32																																																																																			
独立行政法人都市再生機構	33																																																																																			
市住宅供給公社	34																																																																																			
県住宅供給公社	35																																																																																			
区画整理等	36																																																																																			
行政界	37																																																																																			
国土調査	38																																																																																			
民間	99																																																																																			

告示日	定義 道路境界の告示年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
完了月日	定義 横浜市道路局道路調査課の決 裁が終了した入力年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
補正番号	定義 道路境界の補正番号。区名、年 度（和暦）、通し番号（2桁）で 構成する。年度と通し場番号は ハイフンで接続する。存在しな い場合は、NULL とする。 （例）緑区、平成 22 年度、通 し番号 1 の場合 入力値：緑 22-01 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		緑 22-01
境界調査簿冊番号	定義 道水路等境界調査の簿冊番号。 区名、冊番、号番で構成する。 存在しない場合は、NULL とす る。 （例）緑区、1 冊、1 号の場合 入力値：緑区 1 冊 1 号 定義域 地物が持ちえる名称とする。	STR		緑区 1 冊 1 号
境界調査決裁日	定義 道水路等境界調査の決裁年月 日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

図面番号	<p>定義 道路台帳区域線図1図葉の図郭番号。 大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号:10、小メッシュ番号:40の場合 入力値:10-40 定義域 地物が持ちえる値とする。</p>	STR		10-40
道路境界標番号	<p>定義 折れ点を識別するための番号。 番号は先頭0詰め7桁とする。 (例) 番号99の場合 入力値:0000099 定義域 地物が持ちえる名称とする。</p>	STR		0000099
入力年度	<p>横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年度。年度は和暦で記述する。 (例) 昭和63年度の場合 入力値:昭和63年度 (年度の値は半角数字とする) 定義域 地物が持ちえる年度とする。</p>	STR		昭和63年度
新図郭	<p>道路台帳区域線図1図葉の新図郭番号。 大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号:10、小メッシュ番号:40の場合 入力値:10-40 定義域 地物が持ちえる値とする。</p>	STR		10-40

(54) 滅失図上点(任意座標)

1. 地物定義 滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界線の折れ点のうち、公共測量座標を有さない任意座標のもの。道路境界標は設置されていない。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-BMK-ROW-MESSHITSUNINIZAHYOU
作業機関が作成するデータ S-BMK-ROW-MESSHITSUNINIZAHYOU001
3. 図形種類 点データ (点マーカ) ※マーカコードは、2 : circle とする。
4. 色 任意
5. 作図方法 取得基準:
図上点の座標値を取得する。GM_Point の座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。
6. 図形名称 滅失図上点 (任意座標) 001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
X 座標	定義 道路境界標の測量成果の X 座 標。 定義域 地理範囲で示された範囲内 であること。	RNN		1000.00
Y 座標	定義 道路境界標の測量成果の Y 座 標。 定義域 地理範囲で示された範囲内 であること。	RNN		1000.00

事業種別	定義 道路境界標の滅失を行った事業の種別。	INN	2																
	定義域 下のコード表より値を選択する。																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現況補正</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>境界調査</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>道路移管</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>国土調査</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>14条地区</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>誤表示</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table>			事業種別	値	現況補正	1	境界調査	2	道路移管	3	国土調査	4	14条地区	5	誤表示	6	その他	99
	事業種別			値															
	現況補正			1															
	境界調査			2															
	道路移管			3															
	国土調査			4															
	14条地区			5															
誤表示	6																		
その他	99																		

管理者	<p>定義 道路境界標の管理者。</p> <p>定義域 下のコード表より値を選択する。管理者不明の場合は、NULLとする。</p> <table border="1" data-bbox="448 398 815 1823"> <thead> <tr> <th>管理者</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>横浜市</td><td>1</td></tr> <tr><td>横浜市道路</td><td>2</td></tr> <tr><td>横浜市河川</td><td>3</td></tr> <tr><td>横浜市公園</td><td>4</td></tr> <tr><td>横浜市下水</td><td>5</td></tr> <tr><td>横浜市水道</td><td>6</td></tr> <tr><td>横浜市交通</td><td>7</td></tr> <tr><td>横浜市建築</td><td>8</td></tr> <tr><td>横浜市学校</td><td>9</td></tr> <tr><td>国土交通省</td><td>10</td></tr> <tr><td>厚生労働省</td><td>11</td></tr> <tr><td>総務省</td><td>12</td></tr> <tr><td>防衛省</td><td>13</td></tr> <tr><td>神奈川県</td><td>14</td></tr> <tr><td>町田市</td><td>15</td></tr> <tr><td>川崎市</td><td>16</td></tr> <tr><td>鎌倉市</td><td>17</td></tr> <tr><td>逗子市</td><td>18</td></tr> <tr><td>藤沢市</td><td>19</td></tr> <tr><td>大和市</td><td>20</td></tr> <tr><td>横須賀市</td><td>21</td></tr> <tr><td>東京電力</td><td>22</td></tr> <tr><td>東京ガス</td><td>23</td></tr> <tr><td>日本電信電話 (NTT)</td><td>24</td></tr> <tr><td>JR (JR東日本、JR 東海、国鉄)</td><td>25</td></tr> <tr><td>相模鉄道</td><td>26</td></tr> <tr><td>東京急行</td><td>27</td></tr> <tr><td>京浜急行</td><td>28</td></tr> <tr><td>日本道路公団</td><td>29</td></tr> <tr><td>東日本高速道路</td><td>30</td></tr> <tr><td>中日本高速道路</td><td>31</td></tr> <tr><td>首都高速道路</td><td>32</td></tr> <tr><td>独立行政法人都 市再生機構</td><td>33</td></tr> <tr><td>市住宅供給公社</td><td>34</td></tr> <tr><td>県住宅供給公社</td><td>35</td></tr> <tr><td>区画整理等</td><td>36</td></tr> <tr><td>行政界</td><td>37</td></tr> <tr><td>国土調査</td><td>38</td></tr> <tr><td>民間</td><td>99</td></tr> </tbody> </table>	管理者	値	横浜市	1	横浜市道路	2	横浜市河川	3	横浜市公園	4	横浜市下水	5	横浜市水道	6	横浜市交通	7	横浜市建築	8	横浜市学校	9	国土交通省	10	厚生労働省	11	総務省	12	防衛省	13	神奈川県	14	町田市	15	川崎市	16	鎌倉市	17	逗子市	18	藤沢市	19	大和市	20	横須賀市	21	東京電力	22	東京ガス	23	日本電信電話 (NTT)	24	JR (JR東日本、JR 東海、国鉄)	25	相模鉄道	26	東京急行	27	京浜急行	28	日本道路公団	29	東日本高速道路	30	中日本高速道路	31	首都高速道路	32	独立行政法人都 市再生機構	33	市住宅供給公社	34	県住宅供給公社	35	区画整理等	36	行政界	37	国土調査	38	民間	99	INN		1
管理者	値																																																																																			
横浜市	1																																																																																			
横浜市道路	2																																																																																			
横浜市河川	3																																																																																			
横浜市公園	4																																																																																			
横浜市下水	5																																																																																			
横浜市水道	6																																																																																			
横浜市交通	7																																																																																			
横浜市建築	8																																																																																			
横浜市学校	9																																																																																			
国土交通省	10																																																																																			
厚生労働省	11																																																																																			
総務省	12																																																																																			
防衛省	13																																																																																			
神奈川県	14																																																																																			
町田市	15																																																																																			
川崎市	16																																																																																			
鎌倉市	17																																																																																			
逗子市	18																																																																																			
藤沢市	19																																																																																			
大和市	20																																																																																			
横須賀市	21																																																																																			
東京電力	22																																																																																			
東京ガス	23																																																																																			
日本電信電話 (NTT)	24																																																																																			
JR (JR東日本、JR 東海、国鉄)	25																																																																																			
相模鉄道	26																																																																																			
東京急行	27																																																																																			
京浜急行	28																																																																																			
日本道路公団	29																																																																																			
東日本高速道路	30																																																																																			
中日本高速道路	31																																																																																			
首都高速道路	32																																																																																			
独立行政法人都 市再生機構	33																																																																																			
市住宅供給公社	34																																																																																			
県住宅供給公社	35																																																																																			
区画整理等	36																																																																																			
行政界	37																																																																																			
国土調査	38																																																																																			
民間	99																																																																																			

告示日	定義 道路境界の告示年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
完了月日	定義 横浜市道路局道路調査課の決 裁が終了した入力年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
補正番号	定義 道路境界の補正番号。区名、年 度（和暦）、通し番号（2桁）で 構成する。年度と通し場番号は ハイフンで接続する。存在しな い場合は、NULL とする。 （例）緑区、平成 22 年度、通 し番号 1 の場合 入力値：緑 22-01 定義域 地物が持ちえる値とする。	STR		緑 22-01
境界調査簿冊番号	定義 道水路等境界調査の簿冊番号。 区名、冊番、号番で構成する。 存在しない場合は、NULL とす る。 （例）緑区、1 冊、1 号の場合 入力値：緑区 1 冊 1 号 定義域 地物が持ちえる名称とする。	STR		緑区 1 冊 1 号
境界調査決裁日	定義 道水路等境界調査の決裁年月 日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、NULL とする。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

図面番号	<p>定義 道路台帳区域線図 1 図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40 の場合 入力値：10-40 定義域 地物が持ちえる値とする。</p>	STR		10-40
点番号	<p>定義 折れ点を識別するための番号。番号は先頭 0 詰め 7 桁とし、頭に N を付与する。 (例) 番号 99 の場合 入力値：N0000099 定義域 地物が持ちえる値とする。なお、クラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。</p>	STR		N0000099

(55) 滅失道路境界標間距離表示線

1. 地物定義 滅失した、2つの道路境界標を結ぶ直線。
2. レイヤ名 道路調査課が提供するデータ S-STR-DIM-MESSHITSUKYOUKAIHYOUKANK
YORIHYOUJISEN
作業機関が作成するデータ S-STR-DIM-MESSHITSUKYOUKAIHYOUKANK
YORIHYOUJISEN001
3. 図形種類 線データ（線分、折線）
4. 色 任意
取得基準：
5. 作図方法 2つの道路境界標または図上点を結ぶ直線を取得する。GM_Curveの始点および終点の座標は、道路境界標または図上点の座標と一致しなければならない。また、道路境界標間距離表示線に中間点は存在してはならない。
6. 図形名称 滅失道路境界標間距離表示線001
7. 属性項目

【属性】	【定義】	【属性値の型】	【属性値の単位】	【記述例】
データ有効期間 (開始)	定義 オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07
データ有効期間 (終了)	定義 オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 と する。 定義域 地物が持ちえる日付とする。	STR		2011-03-07

長さ	<p>定義 滅失時の区域線距離の属性「表示文字」で示される長さ。単位はメートルとし、小数第4位を切り捨て小数第3位を四捨五入した小数第2位までの値とする。</p> <p>定義域 地物が持ちえる長さとする。</p>	LEN	m	30.15																				
線番号	<p>定義 道路境界標間距離表示線と道路境界標間距離とを関連させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。</p> <p>(例) 010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路境界標間距離表示線の場合 入力値： 010400000099010410000100</p> <p>定義域 地物が持ちえる値とする。なお、クラス内において同じ値を持つインスタンスの存在は認めない。</p>	STR		010400000 099010410 000100																				
告知区分	<p>定義 道路区域線が決定された告示区分の種別。</p> <p>定義域 下のコード表より値を選択する。</p> <table border="1" data-bbox="448 1384 778 1720"> <thead> <tr> <th>告示区分</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新設道路(横浜市)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>道路敷</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>廃止道路</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>水路敷</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>新設道路(国道)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>水路の所管替</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>廃止水路</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>青地</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>誤表示</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	告示区分	値	新設道路(横浜市)	1	道路敷	2	廃止道路	3	水路敷	4	新設道路(国道)	5	水路の所管替	6	廃止水路	7	青地	8	誤表示	9	INN		1
告示区分	値																							
新設道路(横浜市)	1																							
道路敷	2																							
廃止道路	3																							
水路敷	4																							
新設道路(国道)	5																							
水路の所管替	6																							
廃止水路	7																							
青地	8																							
誤表示	9																							